

**【表紙】**

**【提出書類】** 有価証券届出書

**【提出先】** 関東財務局長 殿

**【提出日】** 平成24年5月11日提出

**【発行者名】** 大和証券投資信託委託株式会社

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 白川 真

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋茅場町二丁目10番5号

**【事務連絡者氏名】** 長谷川 英男  
連絡場所 東京都中央区日本橋茅場町二丁目10番5号

**【電話番号】** 03-5695-2111

**【届出の対象とした募集内  
国投資信託受益証券に係る  
ファンドの名称】** ダイワB R I C s リターンズ・ファンド

**【届出の対象とした募集内  
国投資信託受益証券の金  
額】** 継続申込期間（平成24年5月12日から平成25年5月13日まで）  
10兆円を上限とします。

**【縦覧に供する場所】** 該当ありません。

## 第一部 【証券情報】

### (1) 【ファンドの名称】

ダイワB R I C sリターンズ・ファンド

### (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（契約型）の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

### (3) 【発行（売出）価額の総額】

10兆円を上限とします。

### (4) 【発行（売出）価格】

1万口当たり取得申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

・委託会社のホームページ

アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

### (5) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

(6) 【申込単位】

販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

(7) 【申込期間】

平成24年5月12日から平成25年5月13日まで（継続申込期間）

（終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）

(8) 【申込取扱場所】

委託会社にお問合わせ下さい。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

- ・委託会社のホームページ

アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日（くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。）までに、取得申込代金（取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。）を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10) 【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

## (11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。

株式会社 証券保管振替機構

## (12) 【その他】

受益権の取得申込者は、申込取扱場所において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

サンパウロ証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所、ロシア取引システム（RTS）、インドのボンベイ証券取引所、インドのナショナル証券取引所、シンガポール証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の日を申込受付日とする受益権の取得および換金の申込みの受付は、行ないません。

申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

委託会社の各営業日（ ）の午後3時までに受付けた取得および換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日（ ）の取扱いとなります。

（ ）前 の申込受付中止日を除きます。

金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいい、単に「取引所」ということがあります。以下同じ。）等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受付を中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。取扱い可能なコースについては、販売会社にお問合わせ下さい。なお、コース名は、販売会社により異なる場合があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約を締結します。なお、上記の契約または規定について、別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約または規定が用いられることがあり、この場合上記の契約または規定は、当該別の名称に読替えるものとします（以下同じ。）。

取得申込金額に利息は付きません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、一部解約金は、社振法および上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

（参考）

投資信託振替制度とは、

ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。

- ・ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行なわれますので、受益証券は発行されません。

## 第二部 【ファンド情報】

### 第1 【ファンドの状況】

#### 1 【ファンドの性格】

##### (1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類	単位型投信・追加型投信	追加型投信
	投資対象地域	海外
	投資対象資産(収益の源泉)	株式
属性区分	投資対象資産	その他資産（投資信託証券（株式 一般））
	決算頻度	年2回
	投資対象地域	エマージング
	投資形態	ファンド・オブ・ファンズ
	為替ヘッジ	為替ヘッジなし

##### (注1) 商品分類の定義

- ・「追加型投信」...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
- ・「海外」...目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「株式」...目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの

##### (注2) 属性区分の定義

- ・「その他資産」...組入れている資産
- ・「株式 一般」...大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのもの
- ・「年2回」...目論見書等において、年2回決算する旨の記載があるもの
- ・「エマージング」...目論見書等において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「ファンド・オブ・ファンズ」...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
- ・「為替ヘッジなし」...目論見書等において、為替のヘッジを行なわない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス <http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

## &lt; 信託金の限度額 &gt;

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、5,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

## &lt; ファンドの特色 &gt;

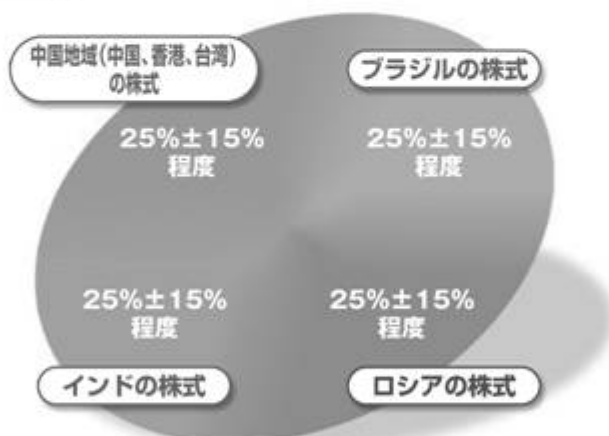
## 1 ブラジル、ロシア、インドおよび中国地域（中国、香港、台湾）の株式<sup>(注)</sup>に投資します。

(注)「株式」…DR（預託証券）を含みます。

※DR：Depositary Receipt の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。また、通常は、預託された株式の通貨とは異なる通貨で取引されます。

- 各資産の配分は、ブラジル、ロシア、インドおよび中国地域（中国、香港、台湾）の成長性、政治社会情勢、市場環境、株価バリュエーション、流動性等を分析して、信託財産の純資産総額の25% ± 15%程度の範囲内とします。

### 資産配分のイメージ



※上記はイメージであり、実際の組入比率とは異なります。

- 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

### 投資対象ファンド

- ①BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）
- ②ダイワ・ロシア株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）
- ③ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）
- ④チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

## ファンドの仕組み

- 当ファンドは、複数の投資信託証券への投資を通じて、ブラジル、ロシア、インドおよび中国地域（中国、香港、台湾）の株式に実質的に投資します。



※各投資対象ファンドの名称について、「(適格機関投資家専用)」の部分を省略して記載しています。  
※くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

・為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

・大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。

2

毎年2月20日および8月20日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 〈分配方針〉

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。



## 投資対象ファンドの概要

## I. BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目的として運用を行いません。
主要投資対象	BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
投資態度	<p>①当ファンドは、BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンド受益証券への投資を通じ、主として、ブラジル連邦共和国（ブラジル）に本社を置く企業、もしくはブラジル国内にて主に事業活動を営む企業が発行する株式等に実質的に投資を行ない、中長期的に投資信託財産の成長をめざした運用を行いません。ただし、上記の株式等以外に、投資対象企業のADR（米国預託証券）やGDR（グローバル預託証券）等も投資対象とすることがあります。</p> <p>②投資する株式の選定においては、経済状況などを考慮しながら業種別の企業動向等の見通しを行なうと同時に、定量および定性的な個別企業の分析を行ない、バリュエーション上株価が割安と判断され、かつ企業収益が堅調であると考えられる株式を選択します。</p> <p>③株式への実質的な組入れ比率は高位に保つことを基本とします。</p> <p>④外貨建資産への実質的な投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行ないません。</p> <p>⑤資金動向、市況動向、その他の要因（当初設定日直後、償還の準備に入ったとき等を含みます。）等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p> <p>⑥当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ専用とします。</p>
BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの投資態度	<p>①当ファンドは、主として、ブラジルに本社を置く企業、もしくはブラジル国内にて主に事業活動を営む企業が発行する株式等に投資を行ない、中長期的に投資信託財産の成長をめざした運用を行いません。ただし、上記の株式等以外に、投資対象企業のADR（米国預託証券）やGDR（グローバル預託証券）等も投資対象とすることがあります。</p> <p>②（上記「投資態度」の②と同規定）</p> <p>③株式への組入れ比率は高位に保つことを基本とします。</p> <p>④外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行ないません。</p> <p>⑤（上記「投資態度」の⑤と同規定）</p> <p>⑥BNPパリバ アセットマネジメント ブラジル（BNP Paribas Asset Management Brasil LTDA.）に運用指図に関する権限を委託します。</p> <p><b>〈BNPパリバアセットマネジメントブラジル(BNP Paribas Asset Management Brasil LTDA.)について〉</b></p> <p>BNPパリバ アセットマネジメント ブラジル（BNP Paribas Asset Management Brasil LTDA.）は、BNPパリバグループの資産運用部門におけるブラジルの拠点であり、平成10年に設立され、ブラジルをはじめとする中南米市場に特化した資産運用業務を行っております。</p> <p>BNPパリバグループは欧州を本拠とする世界有数の金融グループです。世界80ヶ国に約200,000人の従業員を擁し、コーポレートバンキング・投資銀行業務、資産運用業務、ならびにリテール銀行業務という3つの主要業務分野それぞれにおいてキープレイヤーとしての地位を占めています。</p>
信託期間	無期限（平成21年2月16日当初設定）
決算日	毎年5月10日および11月10日（休業日の場合は翌営業日）
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率0.945%（税抜0.900%）
信託事務の諸費用および監査報酬	信託財産に関する租税、その他信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査費用ならびに当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
委託会社	BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）

## II. ダイワ・ロシア株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券
投資態度	<p>①主としてロシアの株式(*)の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。  (*) 株式：DR（預託証券）、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。  イ、業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。  ロ、財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。  ハ、ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。</p> <p>③実質的な運用は、ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券に投資することにより行ないます。  ④マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p style="text-align: center;"><b>〈デカ・インベストメント社(Deka Investment GmbH)について〉</b></p> <p>デカ・インベストメント社は、ドイツ国内で総資産額が最大級の金融グループである「貯蓄銀行グループ」の最上部決済銀行デカバンク(DekaBank)の100%子会社です。1956年に設立され、リテールおよび機関投資家向けの資産運用業務を担当しています。</p> <p>デカバンクは、州立銀行間、貯蓄銀行間の上部決済機能、同グループへの資金供与だけではなく一般企業向け、保険会社向けの与信供与や世界レベルの機関投資家として、投資事業、アセットマネジメント業務を展開するなど、ドイツ有数のユニバーサルバンクとして業務を展開しています。</p> <p>⑤マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。  ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。  ⑦当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想される場合、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。  ⑧当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ専用とします。</p>
ダイワ・ロシア株マザーファンドの投資態度	<p>①～②（上記「投資態度」の①～②と同規定）  ③外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。  ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。  ⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。  ⑥（上記「投資態度」の⑦と同規定）</p>
信託期間	無期限（平成21年2月16日当初設定）
決算日	2月20日および8月20日（休業日の場合翌営業日）
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率0.8925%（税抜0.85%）
信託事務の諸費用および監査報酬	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

## Ⅲ. ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券
投資態度	<p>①主として、ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券を通じてインドの株式*の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 時価総額や流動性等を勘案します。</p> <p>ハ. 個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。</p> <p style="text-align: center;"><b>〈ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドについて〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド（所在地：シンガポール）は、1994年にシンガポールにおいて設立された会社で、大和証券投資信託委託株式会社の海外現地法人です。</li> <li>•主として、アジア株式の運用・調査業務を行なっています。</li> </ul> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>⑥当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想される場合、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p> <p>⑦当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ専用とします。 株式*…DR（預託証券）を含みます。</p>
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの投資態度	<p>①主として、インドの株式*の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②（上記「投資態度」の②と同規定）</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。</p> <p>④株式*の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>⑥（上記「投資態度」の⑥と同規定） 株式*…DR（預託証券）を含みます。</p>
信託期間	無期限（平成21年2月16日当初設定）
決算日	毎年6月16日および12月16日（休業日の場合翌営業日）
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率0.8925%（税抜0.85%）
信託事務の諸費用および監査報酬	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

## IV. チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	信託財産の長期的な成長をめざして運用を行ないます。									
主要投資対象	チャイナ・エクイティ・マザーファンドの受益証券									
投資態度等	<p>①中国地域の株式を実質的な主要投資対象とし、中国の経済成長からメリットを受ける有望な投資テーマ（アイデア）にフォーカスして投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別銘柄への投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析を重視して、投資魅力が高いと判断される銘柄に投資します。</li> <li>個々の企業の成長性、収益性、財務内容や流動性などを勘案します。</li> <li>組入銘柄が投資テーマ（アイデア）に関連するかの判断は、ダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッドが行ないます。</li> </ul>									
	<p>〈当ファンドの実質的な投資対象〉</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="360 521 683 566">投資対象国</th> <th data-bbox="683 521 1007 566">投資対象銘柄</th> <th data-bbox="1007 521 1287 566">実質投資割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="360 566 683 667">主要投資対象国：中国地域 （中国、香港、台湾）</td> <td data-bbox="683 566 1007 667">中国の企業（H株、レッドチップ、B株 他） 香港、台湾の企業</td> <td data-bbox="1007 566 1287 667">原則として取得時において 純資産総額の70%以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 667 683 813">その他投資対象国： 中国周辺アジア諸国 （韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）</td> <td data-bbox="683 667 1007 813">中国関連企業</td> <td data-bbox="1007 667 1287 813">原則として取得時において 純資産総額の30%未満</td> </tr> </tbody> </table>	投資対象国	投資対象銘柄	実質投資割合	主要投資対象国：中国地域 （中国、香港、台湾）	中国の企業（H株、レッドチップ、B株 他） 香港、台湾の企業	原則として取得時において 純資産総額の70%以上	その他投資対象国： 中国周辺アジア諸国 （韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）	中国関連企業	原則として取得時において 純資産総額の30%未満
	投資対象国	投資対象銘柄	実質投資割合							
主要投資対象国：中国地域 （中国、香港、台湾）	中国の企業（H株、レッドチップ、B株 他） 香港、台湾の企業	原則として取得時において 純資産総額の70%以上								
その他投資対象国： 中国周辺アジア諸国 （韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）	中国関連企業	原則として取得時において 純資産総額の30%未満								
<p>※今後、規制緩和等により、投資条件が整った場合には、中国A株へ投資する場合があります。株式以外にも、DR（預託証券）や株式の価動きに連動する債券等へ投資する場合があります。</p> <p>※中国の企業には、中国本土の企業で他の市場に上場している銘柄も含まれます。</p> <p>※上記以外の国が今後投資対象国に追加される場合があります。</p>										
<p>投資態度等</p>	<p style="text-align: center;"><b>当ファンドにおける「中国の企業」とは…</b></p> <p><b>H株：</b> 香港市場に上場されている銘柄のうち、登記場所や主要活動拠点、資本が中国本土である銘柄</p> <p><b>レッドチップ：</b> 香港市場に上場されている銘柄のうち、法人登記が中国本土以外でされた中国の政府機関等の資本傘下にある銘柄</p> <p><b>B株：</b> 上海証券取引所や深セン証券取引所に上場された銘柄で、外国人投資家が取引できるもの。上海証券取引所のB株は米ドル建てで取引され、深セン証券取引所のB株は香港ドル建てで取引されています。</p>									
	<p>※上記のほかにも中国本土の企業で他の市場に上場している銘柄等も含まれます。</p> <p>②マザーファンドの運用指図にかかる権限をダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッドへ委託します。</p> <p style="text-align: center;"><b>〈ダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッドについて〉</b></p> <p>ダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッド（所在地：香港）は、1988年2月に香港法に基づき、香港において設立された会社で、大和住銀投信投資顧問株式会社の100%子会社です。同社は、主に、機関投資家等に対して資産運用業務を行っており、主として、アジア地域の株式等の運用を行っています。</p> <p>③マザーファンドの組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤資金動向、市況動向、残存信託期間、残存元本等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p> <p>⑥当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ専用とします。</p>									

チャイナ・ エクイティ・ マザーファンドの 投資態度	<p>①中国地域の株式を主要投資対象とし、中国の経済成長からメリットを受ける有望な投資テーマ（アイデア）にフォーカスして投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別銘柄への投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析を重視して、投資魅力が高いと判断される銘柄に投資します。</li> <li>個々の企業の成長性、収益性、財務内容や流動性などを勘案します。</li> <li>組入銘柄が投資テーマ（アイデア）に関連するかの判断は、ダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッドが行ないます。</li> </ul> <p>②運用指図にかかる権限をダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッドへ委託します。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。</p> <p>④資金動向、市況動向によっては、あるいははやむを得ない事情が発生した場合には上記のような運用ができない場合があります。</p>
信託期間	無期限（平成21年2月16日当初設定）
決算日	毎年4月11日および10月11日（休業日の場合翌営業日）
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率0.819%（税抜0.78%）
信託事務の諸費用 および監査報酬	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸経費、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等相当額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
委託会社	大和住銀投信投資顧問株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

## 【指定投資信託証券の委託会社等について】

指定投資信託証券の委託会社等の沿革は、以下のとおりです。

### BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

平成10年11月9日	会社設立
平成10年11月30日	証券投資信託委託業の免許取得
平成11年2月26日	証券投資顧問業の登録
平成12年6月20日	投資一任契約業務の認可取得
平成12年8月1日	パリバ投資顧問株式会社の営業の全部を譲り受ける
平成12年8月1日	ビー・エヌ・ビー・パリバ アセットマネジメント株式会社に社名変更
平成22年7月1日	フォルティス・アセットマネジメント株式会社と合併 BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社に社名変更

### 大和証券投資信託委託株式会社

昭和34年12月12日	設立登記
昭和35年2月17日	「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
昭和35年4月1日	営業開始
昭和60年11月8日	投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
平成7年5月31日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
平成7年9月14日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
平成19年9月30日	「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。

### 大和住銀投信投資顧問株式会社

昭和48年6月1日	大和投資顧問株式会社設立
平成11年2月18日	証券投資信託委託業の認可取得
平成11年4月1日	住銀投資顧問株式会社及びエス・ビー・アイ・エム投信株式会社と合併し、大和住銀投信投資顧問株式会社へ商号を変更

## (2) 【ファンドの沿革】

平成21年2月13日 信託契約締結、当初設定、運用開始

## (3) 【ファンドの仕組み】



受益者	お申込者 収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3）	
お取扱窓口	販売会社	受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1）に基づき、次の業務を行ないます。  受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など
1	収益分配金、償還金など お申込金（ 3）	
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2）の委託者であり、次の業務を行ないます。 受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など
運用指図	2	損益 信託金（ 3）
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 再信託受託会社： 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	信託契約（ 2）の受託者であり、次の業務を行ないません。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。 委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など
	損益 投資	
投資対象	投資対象ファンドの受益証券 など	

（注）「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

## ファンドの仕組み

- 当ファンドは、複数の投資信託証券への投資を通じて、ブラジル、ロシア、インドおよび中国地域（中国、香港、台湾）の株式に実質的に投資します。



※各投資対象ファンドの名称について、「(適格機関投資家専用)」の部分を省略して記載しています。

< 委託会社の概況（平成24年2月末日現在） >

・資本金の額 151億7,427万2,500円

・沿革

昭和34年12月12日 設立登記  
 昭和35年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得  
 昭和35年 4月 1日 営業開始  
 昭和60年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。  
 平成 7年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。  
 平成 7年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。  
 平成19年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。  
 （金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号）

・大株主の状況

名称	住所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

## 2 【投資方針】

## (1) 【投資方針】

## 主要投資対象

次の各ファンドの受益証券（振替受益権を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。

1. BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
2. ダイワ・ロシア株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
3. ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
4. チャイナ龍翔（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券

## 投資態度

イ．主として、ブラジル、ロシア、インドおよび中国地域(中国、香港、台湾)の株式を主要投資対象とする複数の投資信託証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ロ．各投資信託証券への配分は、主要投資対象国( )の成長性、政治社会情勢、市場環境、株価バリュエーション、流動性等を分析して、信託財産の純資産総額の25% ± 15%程度の範囲内とします。

主要投資対象国：ブラジル、ロシア、インド、中国

ハ．為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## &lt;投資先ファンドについて&gt;

投資先ファンドの選定の方針は次のとおりです。

投資先ファンド	BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
選定の方針	主として、ブラジル連邦共和国（ブラジル）に本社を置く企業、もしくはブラジル国内にて主に事業活動を営む企業が発行する株式等に実質的に投資を行ない、中長期的に投資信託財産の成長を目指した運用を行なうファンドであること。

投資先ファンド	ダイワ・ロシア株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
選定の方針	主としてロシアの株式の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なうファンドであること。

投資先ファンド	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
選定の方針	主としてインドの株式の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なうファンドであること。



投資先ファンド	チャイナ龍翔 (F0Fs用) (適格機関投資家専用)
選定の方針	中国地域の株式を主要投資対象とし、中国の経済成長からメリットを受ける有望な投資テーマ(アイデア)にフォーカスして投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行なうファンドであること。

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格<ファンドの特色>」をご参照下さい。

## (2) 【投資対象】

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。)

イ. 有価証券

ロ. 約束手形

ハ. 金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第5号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ. 為替手形

委託会社は、信託金を、主として、次の1.から4.までに掲げる証券投資信託の受益証券(振替受益権を含みます。)、ならびに次の5.から8.までに掲げる有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図することができます。

1. BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(F0Fs用)(適格機関投資家専用)の受益証券

2. ダイワ・ロシア株ファンド(F0Fs用)(適格機関投資家専用)の受益証券

3. ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド(F0Fs用)(適格機関投資家専用)の受益証券

4. チャイナ龍翔(F0Fs用)(適格機関投資家専用)の受益証券

5. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

6. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前5.の証券または証書の性質を有するもの

7. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

8. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金

2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

3. コール・ローン

4. 手形割引市場において売買される手形

### <投資先ファンドについて>

ファンドの純資産総額の10%を超えて投資する可能性がある投資先ファンドの内容は次のとおりで

す。

投資先ファンドの名称	BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目的として運用を行ないます。
主要な投資対象	BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じ、主として、ブラジル連邦共和国（ブラジル）に本社を置く企業、もしくはブラジル国内にて主に事業活動を営む企業が発行する株式等に実質的に投資を行ないます。
委託会社の名称	BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

投資先ファンドの名称	ダイワ・ロシア株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要な投資対象	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、ロシアの株式（預託証券、米ドル建ての株式等を含みます。）に投資します。
委託会社の名称	大和証券投資信託委託株式会社

投資先ファンドの名称	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要な投資対象	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券を通じてインドの株式（預託証券を含みます。）に投資します。
委託会社の名称	大和証券投資信託委託株式会社

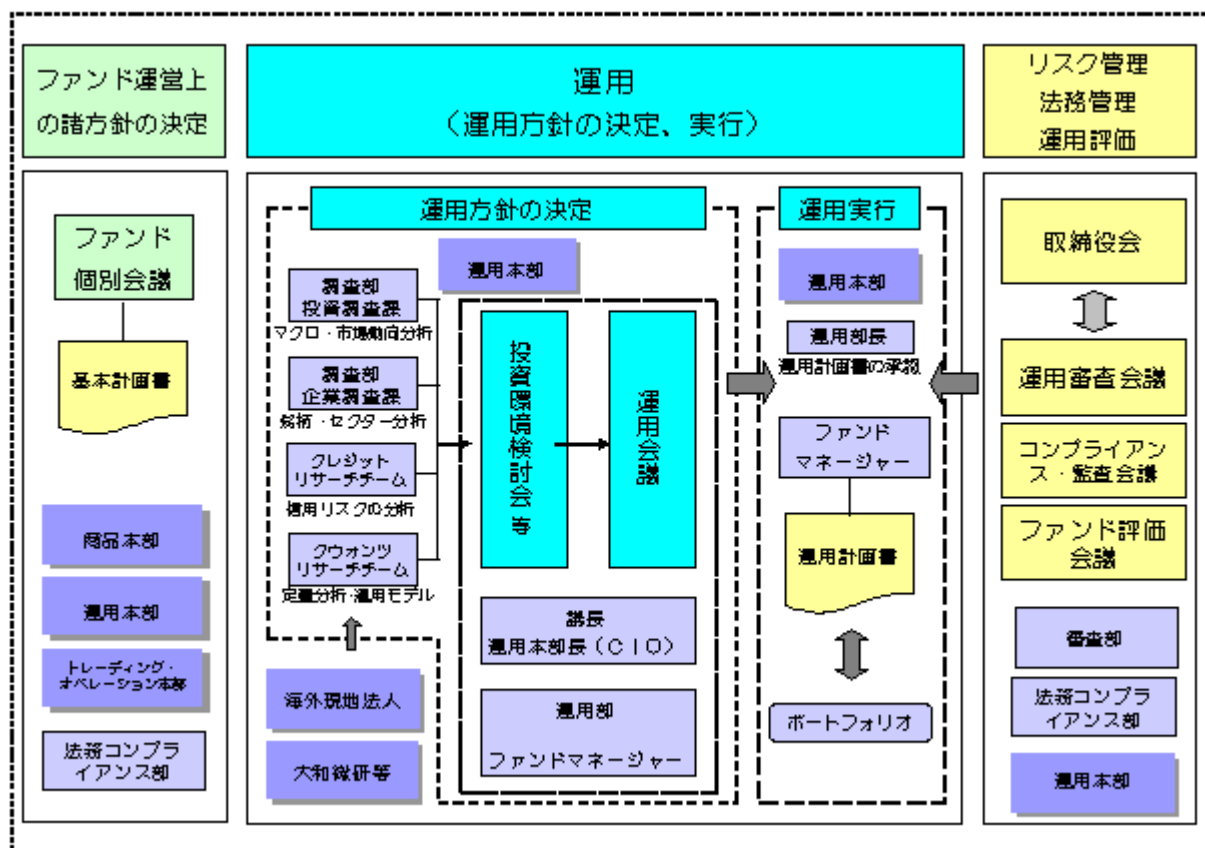
投資先ファンドの名称	チャイナ龍翔（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	信託財産の長期的な成長を目指して運用を行ないます。
主要な投資対象	チャイナ・エクイティ・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、中国地域の株式に投資します。
委託会社の名称	大和住銀投信投資顧問株式会社

くわしくは「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格＜ファンドの特色＞」をご参照下さい。

### (3) 【運用体制】

#### 運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



### 運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

#### イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

#### ロ．投資環境の検討

運用最高責任者である運用本部長（CIO）が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

#### ハ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

#### ニ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

### 職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

#### イ．運用本部長（CIO）（1名）

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・ファンド運用に関する組織運営
- ・ファンドマネージャーの任命・変更

- ・運用会議の議長として、基本的な運用方針の決定
- ・各ファンドの分配政策の決定
- ・代表取締役に対する随時的確な状況報告
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

#### ロ．運用副本部長（1～5名程度）

C I Oを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

#### ハ．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を承認します。

#### ニ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

#### ファンド評価会議、運用審査会議およびコンプライアンス・監査会議

ファンド評価会議は、運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。また、運用審査会議は、経営会議の分科会として、ファンドの運用実績を把握し評価するとともに、取締役会から権限を委任され、ファンドの運用リスク管理の状況についての報告を受けて、必要事項を審議・決定します。

さらに、運用が適切に行なわれたかについて、経営会議の分科会であるコンプライアンス・監査会議において法令等の遵守状況に関する報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

これら会議体の事務局となる内部管理関連部門の人員は20～30名程度です。

#### 受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は平成24年2月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

#### (4) 【分配方針】

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

#### (5) 【投資制限】

##### 株式（信託約款）

株式への直接投資は、行ないません。

##### 投資信託証券（信託約款）

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

##### 同一銘柄の投資信託証券（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．の規定にかかわらず、委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の投資信託証券で、その約款または規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが定められているものの時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の50を超える投資の指図をすることができるものとします。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（信託約款）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引（信託約款）

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

#### <参考> 投資対象ファンドについて

下記以外の項目（「基本方針」、「投資態度」、「信託報酬」等）については、「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

#### 1. BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。 投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
--------	---

マザーファンドの運用指図 権限の委託	<p>委託者は、運用の指図に関する権限を次の者に委託します。 委託先名称：BNPパリバ アセットマネジメント ブラジル 所在地：ブラジル連邦共和国</p> <p>前 の委託を受けた者は、この信託契約に関し、この信託財産からは報酬を収受しません。前項の委託を受けた者が受ける報酬は、この信託の受益証券を投資対象とする証券投資信託の委託者が支払うものとし、その額は信託財産の日々の純資産総額に年10,000分の37の率を乗じて得た額とします。</p> <p>前 の規定に係らず、前 により委託を受けた者が、法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託者は、運用の指図に関する権限の委託を中止またはその委託の内容を変更することができます。</p>
収益分配方針	<p>毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行なう方針です。 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 収益分配額は、委託者が、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合、分配を行わないこともあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	<p>委託者は、信託期間中に、信託契約の一部を解約することにより受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合または信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえこの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

## 2. ダイワ・ロシア株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	<p>マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているものへの実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p>
マザーファンドの運用指図 権限の委託	<p>委託者は、運用の指図に関する権限のうち、外貨建資産の運用に関する権限を次のものに委託します。 Deka Investment GmbH（「デカ・インベストメント社」といいます。） 所在地：ドイツ</p> <p>前 の委託を受けた者が受ける報酬は、委託者が支払うものとし、その額は信託財産の日々の純資産総額に年10,000分の40の率を乗じて得た額とします。</p> <p>前 の規定にかかわらず、前 により委託を受けた者が、法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託者は、運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更することができます。</p>
収益分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益とします。 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	<p>受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

## 3. ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	<p>マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているものへの実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p>
マザーファンドの運用指図 権限の委託	<p>委託者は、運用の指図に関する権限のうち、外貨建資産の運用に関する権限の一部を次のものに委託します。 ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド 所在地：シンガポール 前 の委託を受けた者が受ける報酬は、委託者が支払うものとし、その額は信託財産の日々の純資産総額に年10,000分の50の率を乗じて得た額とします。 前 の規定にかかわらず、前 により委託を受けた者が、法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託者は、運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更することができます。</p>
収益分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益とします。 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	<p>受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

## 4. チャイナ龍翔（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	<p>株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。ただし、親投資信託は除きます。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p>
マザーファンドの運用指図 権限の委託	<p>委託者は、運用指図に関する権限を次のものに委託します。（ただし、株式等の発注に関しては、委託者が行なう場合があります。） Daiwa SB Investments HK Ltd. （ダイワ・エス・ビー・インベストメンツ（香港）・リミテッド） 所在地：香港 前 の委託を受けたものが受ける報酬は、この信託を投資対象とする証券投資信託の委託者が、当該証券投資信託にかかる信託報酬のうち当該委託者が受ける報酬から支弁するものとし、当該報酬の率は当該証券投資信託約款で定めるものとします。 前 の規定にかかわらず、前 により委託を受けたものが、法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託者は運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更することができます。</p>

収益分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づいて分配を行いません。</p> <p>分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の範囲内とします。</p> <p>収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	<p>委託者は、信託期間中において、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p> <p>委託者は、信託契約の一部を解約することにより、信託財産の受益権の残存口数が、30億口を下回ることとなった場合には、受託者と合意のうえ、あらかじめ、監督官庁に届け出ることにより、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

### 3 【投資リスク】

#### (1) 価額変動リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

#### 株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。実質的な組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドの基準価額は、株価変動の影響を大きく受けます。

新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。

#### 外国証券への投資に伴うリスク

##### イ．為替リスク



## 〈為替変動のイメージ図〉



※イメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。実質的な組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

当ファンドにおいて、保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。そのため、基準価額は為替レートの変動の影響を直接受けます。

#### ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

新興国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

新興国においては、先進国と比較して、証券の決済、保管等にかかる制度やインフラストラクチャーが未発達であったり、証券の売買を行なう当該国の仲介業者等の固有の事由等により、決済の遅延、不能等が発生する可能性も想定されます。そのような場合、ファンドの基準価額に悪影響が生じる可能性があります。

実質的な投資対象である株式が上場または取引されている新興国の税制は先進国と異なる面がある場合があります。また、税制が変更されたり、あるいは新たな税制が適用されることにより、基準価額が影響を受ける可能性があります。

#### その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

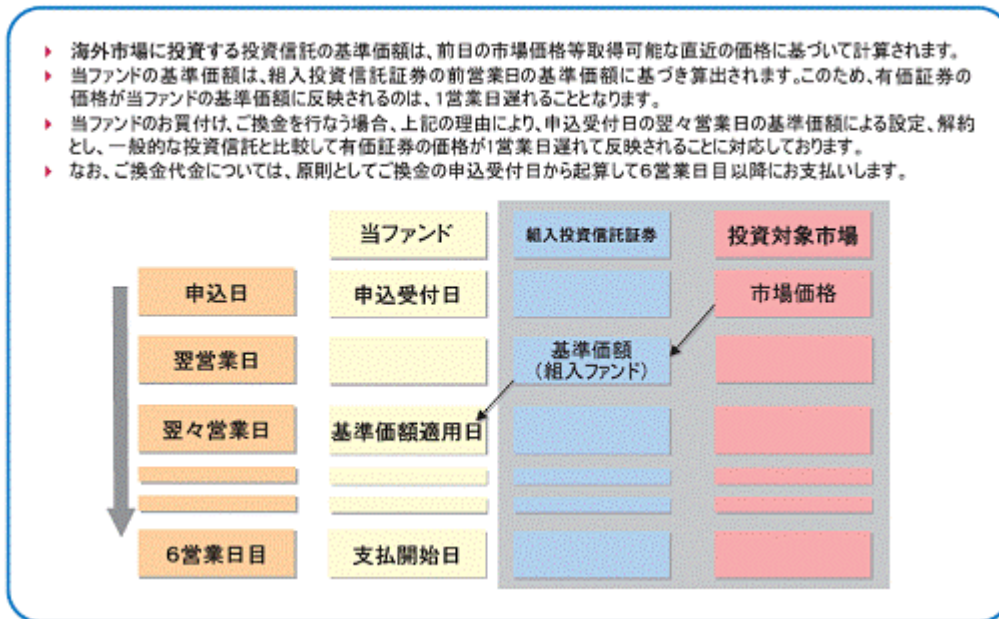
ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

## (2) 換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、投資対象ファンドの設定・解約申込み受付けの停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けたお買付けの申込みを取消すことがあります。

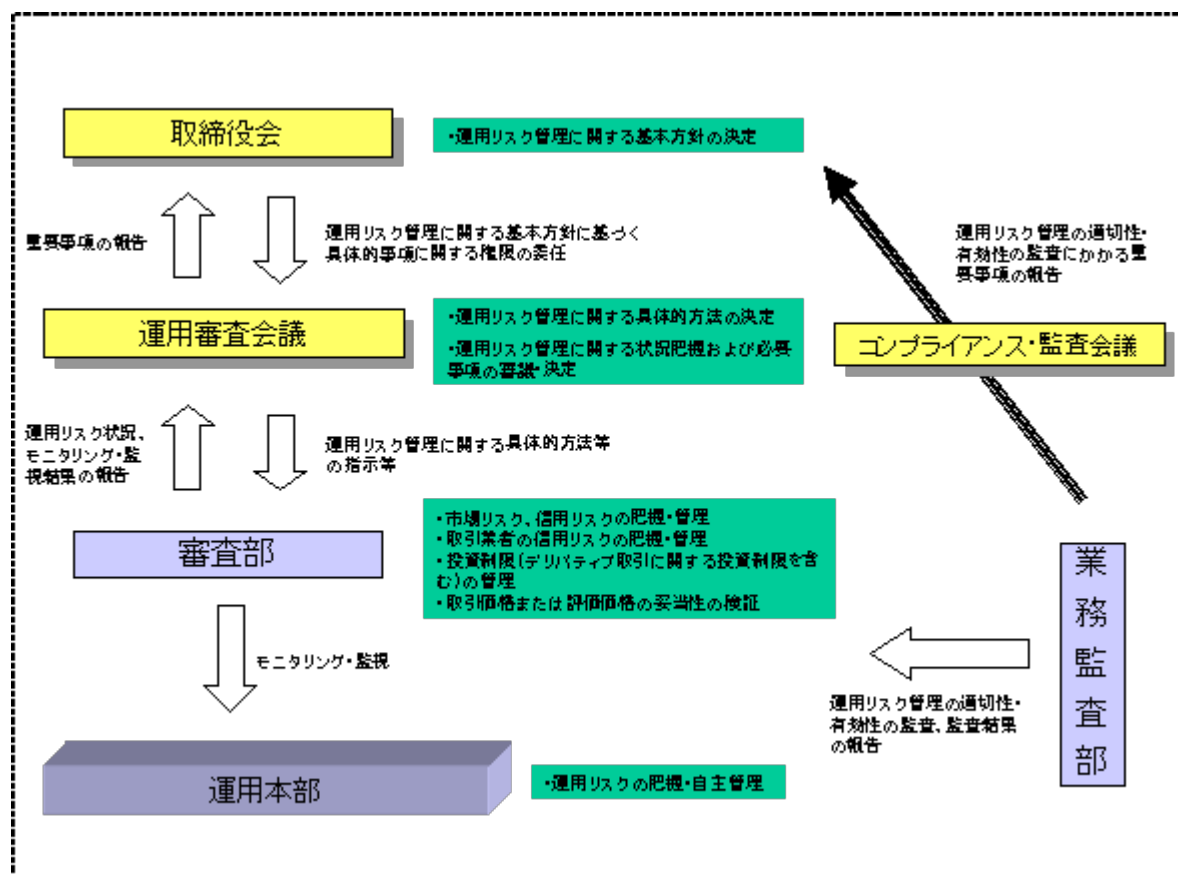
ご換金の申込みの受付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回できます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱います。



## (3) その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

## (4) リスク管理体制



#### 4 【手数料等及び税金】

##### (1) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税等が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

##### (2) 【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

## (3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.882%（税抜0.84%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分は、次のとおりです。

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.105% （税抜0.10%）	年率0.735% （税抜0.70%）	年率0.042% （税抜0.04%）

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

投資対象ファンドの信託報酬等については、「1 ファンドの性格 (1)ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。なお、当ファンドの信託報酬に投資対象ファンドの信託報酬を加えた、投資者が実質的に負担する信託報酬率は、年率1.77% ± 0.02%程度（税込）です（当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。）。

## (4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

投資対象ファンドのその他の手数料等については、「1 ファンドの性格 (1)ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## &lt;投資対象ファンドより支弁する手数料等&gt;

各ファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。その他、監査報酬を支弁します。

## (5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

## 個人の投資者に対する課税

## イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、以下のとおりとなります。

期間	税率
平成24年12月31日まで	10%（所得税7%および地方税3%）
平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	10.147%（所得税7%、復興特別所得税0.147%および地方税3%）
平成26年1月1日から	20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）

## ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、上記イ．の表と同じです。

## ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等の譲渡益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得との損益通算も可能となります。また、一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

## 法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、以下のとおりとなります。

期間	税率
平成24年12月31日まで	7%（所得税7%）
平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	7.147%（所得税7%および復興特別所得税0.147%）
平成26年1月1日から	15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）

なお、税額控除制度が適用されます。益金不算入制度の適用はありません。

#### <注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

#### <注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

（ ）上記は、平成24年2月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

（ ）課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5 【運用状況】

## (1) 【投資状況】（平成24年2月29日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	309,581,333	96.28
内 日本	309,581,333	96.28
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	11,949,582	3.72
純資産総額	321,530,915	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 【投資資産】（平成24年2月29日現在）

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面 金額	簿価単 価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	BNPパリバ・ブラジル株式ファンド	日本	投資信託受 益証券	45,812,153	1.7595 80,606,483	1.7785 81,476,914	25.34
2	チャイナ龍翔	日本	投資信託受 益証券	55,894,282	1.4134 79,000,978	1.4301 79,934,412	24.86
3	ダイワ・ロシア株ファンド	日本	投資信託受 益証券	27,723,490	2.5016 69,353,082	2.6819 74,351,627	23.12
4	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	日本	投資信託受 益証券	54,186,582	1.4148 76,663,176	1.3623 73,818,380	22.96

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

## ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	96.28%
合計	96.28%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

## ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (平成21年8月20日)	380,445,117	468,708,896	1.2931	1.5931
第2計算期間末 (平成22年2月22日)	603,306,191	646,205,019	1.4063	1.5063
第3計算期間末 (平成22年8月20日)	652,174,560	652,174,560	1.3861	1.3861
第4計算期間末 (平成23年2月21日)	503,687,405	514,295,482	1.4244	1.4544
平成23年2月末日	484,094,653	-	1.3680	-
3月末日	476,778,067	-	1.4504	-
4月末日	465,724,218	-	1.4845	-
5月末日	427,711,095	-	1.3828	-
6月末日	418,224,918	-	1.3724	-
7月末日	399,332,692	-	1.3331	-
第5計算期間末 (平成23年8月22日)	330,966,402	330,966,402	1.1290	1.1290
8月末日	333,812,777	-	1.1398	-
9月末日	282,819,979	-	1.0056	-
10月末日	314,013,465	-	1.1170	-
11月末日	274,150,858	-	1.0346	-
12月末日	260,329,549	-	1.0062	-
平成24年1月末日	292,215,852	-	1.1324	-
第6計算期間末 (平成24年2月20日)	318,920,147	318,920,147	1.2197	1.2197
2月末日	321,530,915	-	1.2345	-



## 【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.3000
第2計算期間	0.1000
第3計算期間	0.0000
第4計算期間	0.0300
第5計算期間	0.0000
第6計算期間	0.0000

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	59.3
第2計算期間	16.5
第3計算期間	1.4
第4計算期間	4.9
第5計算期間	20.7
第6計算期間	8.0

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量（口）	解約数量（口）
第1計算期間	156,693,061	48,704,704
第2計算期間	243,649,022	108,873,336
第3計算期間	157,022,380	115,510,855
第4計算期間	37,212,414	154,109,651
第5計算期間	8,945,270	69,400,974
第6計算期間	15,782,697	47,453,691

(注) 当初設定数量は186,224,240口です。

(参考) BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOFs用)（適格機関投資家専用）

## (1) 投資状況（平成24年2月末現在）

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	88,298,913	99.98
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		19,279	0.02
合計（純資産総額）		88,318,192	100.00

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

参考

## BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの投資状況

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	ブラジル	45,977,490,872	98.08
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		900,214,510	1.92
合計（純資産総額）		46,877,704,882	100.00

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (2) 投資資産（平成24年2月末現在）

## 投資有価証券の主要銘柄

## （主要銘柄の明細）

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比
日本	親投資信託受益証券	BNPパリバ・ブラジル 株式マザーファンド	107,760,561	0.6257	67,425,784	0.7790	83,298,913	

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

## （種類別投資比率）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.98
合計	99.98

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率をいいます。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

## 参考

## BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

## (主要銘柄の明細)

	国/地域	種別	銘柄名	業種	数量	簿価単価【円】	簿価金額【円】	評価単価【円】	評価金額【円】	投資比率
1	ブラジル	株式	PETROLEO BRAS-FR	エネルギー	2,678,299	1,025.00	2,743,886,116	1,167.37	2,986,224,176	
2	ブラジル	株式	FMG REALTY SA	耐久消費財・アパレル	7,903,081	325.37	2,581,249,888	369.29	2,828,644,081	
3	ブラジル	株式	VALE SA-FRFR A	鉄材	1,382,023	1,978.16	2,733,866,838	2,040.76	2,820,387,683	
4	ブラジル	株式	VALE SA	鉄材	1,312,938	2,134.68	2,801,943,234	2,099.88	2,762,461,729	
5	ブラジル	株式	OGX PETROLEO E GAS PARTICIPA	エネルギー	3,048,616	662.86	2,018,773,489	616.82	2,486,424,823	
6	ブラジル	株式	ITAU UNIBANCO HOLDING SA-FRFR	銀行	1,332,311	1,668.44	2,209,717,488	1,740.11	2,318,388,483	
7	ブラジル	株式	PETROBRAS-PETROLEO BRAS	エネルギー	1,443,296	1,114.77	1,608,969,147	1,220.17	1,781,087,291	
8	ブラジル	株式	BANF BOVESPA SA	各種金融	3,088,003	494.26	1,519,382,389	589.08	1,798,781,324	
9	ブラジル	株式	MINAS SIDER MINAS GER-FR A	鉄材	2,340,898	646.82	1,511,258,188	668.94	1,558,437,998	
10	ブラジル	株式	GERDAU SA-FRFR	鉄材	1,648,949	723.08	1,193,989,269	839.13	1,389,777,009	
11	ブラジル	株式	BANCO DO BRASIL SA	銀行	848,069	1,172.89	994,423,864	1,311.69	1,112,221,739	
12	ブラジル	株式	ITAU UNIBANCO HOLDING SA-ADR	銀行	839,737	1,426.81	1,200,188,608	1,732.19	1,452,682,379	
13	ブラジル	株式	KLabin SA-FRFR	鉄材	2,897,711	312.09	911,944,118	404.82	1,162,089,266	
14	ブラジル	株式	FLA PARANAENSE DE ENERGIA-FRFR	公益事業	606,248	1,806.91	1,100,929,091	2,009.89	1,200,806,878	
15	ブラジル	株式	ITAUUN- INVESTIMENTOS ITAU-FR	銀行	1,794,768	488.06	873,883,459	587.98	1,019,387,068	
16	ブラジル	株式	EVEN CONSTRUTORA E INCORPORA	耐久消費財・アパレル	2,984,702	394.13	1,186,603,838	381.06	989,328,679	
17	ブラジル	株式	BRF-BRASIL FOODS SA	食品・飲料・タバコ	673,000	1,889.68	1,271,898,560	1,883.69	1,271,898,560	
18	ブラジル	株式	TELE PARTICIPACOES SA	電気通信サービス	1,884,818	497.19	941,361,683	482.83	909,389,386	
19	ブラジル	株式	HIPERMERCAS SA	家庭用品・パーソナル用品	1,843,448	376.89	692,812,888	538.11	881,076,318	
20	ブラジル	株式	LOJAS AMERICANAS SA-FRFR	小売	988,868	897.86	887,064,963	849.12	848,164,799	
21	ブラジル	株式	BRASEPAR SA-FRFR	鉄材	488,388	1,881.14	918,734,482	1,712.61	798,886,362	
22	ブラジル	株式	COBAN SA INDUSTRIA COMERCIO	食品・飲料・タバコ	638,383	1,289.84	823,687,088	1,486.16	788,829,734	
23	ブラジル	株式	BANCO BRASESCO SA-FRFR	銀行	608,279	1,482.98	892,887,108	1,489.87	709,819,182	
24	ブラジル	株式	SAFISA SA	耐久消費財・アパレル	3,097,119	266.69	796,412,487	244.69	706,287,884	
25	ブラジル	株式	METALURGICA GERDAU SA-FRFR	鉄材	867,989	899.07	779,672,062	1,088.42	700,009,439	
26	ブラジル	株式	BANCO BRASESCO-ADR	銀行	440,171	1,389.79	610,349,879	1,486.14	649,311,468	
27	ブラジル	株式	MVY ENGENHARIA	耐久消費財・アパレル	909,671	618.61	560,624,387	681.22	601,429,286	
28	ブラジル	株式	FLA ENERGETICA DE SP-FRFR B	公益事業	318,963	1,437.83	458,883,983	1,789.19	567,083,062	
29	ブラジル	株式	COMPANHIA DE BEBIDAS-FRFR ADR	食品・飲料・タバコ	1,08,712	2,879.69	311,612,173	3,282.89	621,092,214	
30	ブラジル	株式	FLA BRASILEIRA DE DIS-FRFR	食品・生活必需品小売	1,08,804	3,089.16	332,922,169	3,719.97	618,803,278	

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

## （種類別及び業種別投資比率）

種類	国内／外国	業種	投資比率（％）
株式	外国	エネルギー	15.44
株式	外国	素材	24.62
株式	外国	資本財	0.57
株式	外国	運輸	2.55
株式	外国	耐久消費財・アパレル	11.62
株式	外国	消費者サービス	0.41
株式	外国	小売	2.63
株式	外国	食品・生活必需品小売り	1.33
株式	外国	食品・飲料・タバコ	5.89
株式	外国	家庭用品・パーソナル用品	2.23
株式	外国	ヘルスケア機器・サービス	0.30
株式	外国	銀行	15.24
株式	外国	各種金融	3.70
株式	外国	不動産	1.77
株式	外国	ソフトウェア・サービス	1.36
株式	外国	電気通信サービス	4.33
株式	外国	公益事業	4.09
合計			98.08

\* 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該種類及び業種の評価金額の比率をいいます。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

（参考）ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用)（適格機関投資家専用）

## (1) 投資状況（平成24年2月29日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	74,416,666	99.51
内 日本	74,416,666	99.51
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	368,816	0.49
純資産総額	74,785,482	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年2月29日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面 金額	簿価単 価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ・ロシア株マザーファンド	日本	親投資信託 受益証券	85,487,268	0.8251 70,535,544	0.8705 74,416,666	99.51

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.51%
合計	99.51%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考 ダイワ・ロシア株マザーファンド

(1) 投資状況（平成24年2月29日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	9,290,349,721	95.50
内 ロシア	9,290,349,721	95.50
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	437,333,540	4.50
純資産総額	9,727,683,261	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。  
(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 投資資産（平成24年2月29日現在）

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、 口数 または 額 面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	NOVATEK OAO-GDR	ロシア	株式	エネルギー	73,000	11,061.22 807,469,644	12,093.93 882,857,036	9.08
2	SBERBANK-CLS	ロシア	株式	金融	3,170,000	261.80 829,926,922	276.32 875,962,930	9.00
3	LUKOIL OAO-CLS	ロシア	株式	エネルギー	167,000	5,050.56 843,444,856	5,187.72 866,349,908	8.91
4	GAZPROM OAO-CLS	ロシア	株式	エネルギー	1,500,000	516.35 774,528,000	538.94 808,413,600	8.31
5	TATNEFT-CLS	ロシア	株式	エネルギー	950,000	493.27 468,668,895	529.26 502,797,760	5.17
6	MAGNIT OJSC-GDR	ロシア	株式	生活必需品	200,000	2,241.29 448,258,080	2,371.99 474,398,400	4.88
7	FEDERAL HYDROGENERATING	ロシア	株式	公益事業	125,283,738	2.90 363,884,111	3.14 394,207,787	4.05
8	MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	ロシア	株式	電気通信サービス	255,000	1,431.26 364,972,116	1,484.51 378,550,560	3.89
9	VTB BANK OJSC-GDR	ロシア	株式	金融	890,000	384.68 342,367,194	402.59 358,307,948	3.68
10	MMC NORILSK NICKEL-CLS	ロシア	株式	素材	25,000	14,135.13 353,378,400	14,135.13 353,378,400	3.63
11	TRANSNEFT-PREF-CLS	ロシア	株式	エネルギー	2,390	141,190.00 337,444,100	146,030.80 349,013,612	3.59
12	ROSTELECOM-CLS	ロシア	株式	電気通信サービス	850,000	405.82 344,947,340	409.04 347,690,460	3.57
13	URALKALI-GDR	ロシア	株式	素材	105,000	3,225.58 338,686,572	3,307.07 347,242,686	3.57
14	FEDERAL GRID CO UNIFIED-CLS	ロシア	株式	公益事業	310,000,000	0.88 275,899,621	0.88 275,118,800	2.83
15	SURGUTNEFTEGAS-PREF-CLS	ロシア	株式	エネルギー	4,500,000	50.74 228,364,740	55.66 250,511,400	2.58

16	SEVERSTAL-GDR	ロシア	株式	素材	200,000	1,173.08 234,617,440	1,206.16 241,233,200	2.48
17	SURGUTNEFTEGAZ-CLS	ロシア	株式	エネルギー	3,250,000	70.83 230,220,380	70.83 230,220,380	2.37
18	MECHEL-SPONSORED ADR	ロシア	株式	素材	240,000	879.49 211,080,927	924.59 221,902,272	2.28
19	ROSNEFT OIL COMPANY	ロシア	株式	エネルギー	340,000	605.10 205,734,000	621.23 211,220,240	2.17
20	NOVOLIPET STEEL-GDR	ロシア	株式	素材	80,000	2,008.12 160,650,016	1,954.06 156,325,568	1.61
21	SISTEMA JSFC-REG S SPONS GDR	ロシア	株式	電気通信サー ビス	80,000	1,653.69 132,301,484	1,710.41 136,833,280	1.41
22	INTER RAO UES-CLS	ロシア	株式	公益事業	500,000,000	0.08 121,020,000	0.08 121,020,000	1.24
23	IDGC Holding JSC	ロシア	株式	公益事業	13,000,000	7.98 103,835,160	7.98 103,835,160	1.07
24	MAGNIT-CLS	ロシア	株式	生活必需品	10,000	9,614.23 96,143,013	9,939.77 99,397,760	1.02
25	SBERBANK-PREF-CLS	ロシア	株式	金融	380,000	181.53 68,981,400	205.73 78,178,920	0.80
26	SEVERSTAL-CLS	ロシア	株式	素材	61,000	1,221.17 74,491,521	1,213.34 74,014,138	0.76
27	SURGUTNEFTEGAS-SP ADR	ロシア	株式	エネルギー	70,000	789.05 55,233,528	844.71 59,130,372	0.61
28	TMK-GDR	ロシア	株式	エネルギー	40,000	1,062.55 42,502,224	1,169.86 46,794,400	0.48
29	ALROSA CO LTD	ロシア	株式	素材	500,000	91.16 45,584,200	90.76 45,382,500	0.47
30	TATNEFT-ADR	ロシア	株式	エネルギー	19	3,005.33 57,101	3,170.72 60,244	0.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	95.50%
合計	95.50%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
エネルギー	43.25%
素材	14.80%

生活必需品	5.90%
金融	13.49%
電気通信サービス	8.87%
公益事業	9.19%
合計	95.50%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考) ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド(FOFs用)適格機関投資家専用

(1) 投資状況（平成24年2月29日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	75,869,766	99.78
内 日本	75,869,766	99.78
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	169,893	0.22
純資産総額	76,039,659	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年2月29日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面 金額	簿価単 価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	日本	親投資信託受 益証券	154,457,993	0.3823 59,049,290	0.4912 75,869,766	99.78

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
-----------	------



親投資信託受益証券	99.78%
合計	99.78%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考 ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

#### (1) 投資状況（平成24年2月29日現在）

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	16,576,983,698	95.16
内 インド	16,576,983,698	95.16
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	842,350,728	4.84
純資産総額	17,419,334,426	100.00

##### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引（買建）	439,302,600	2.52
内 シンガポール	439,302,600	2.52

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

#### (2) 投資資産（平成24年2月29日現在）

投資有価証券の主要銘柄

##### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	HDFC BANK LTD	インド	株式	金融	2,054,000	716.04 1,470,748,214	880.63 1,808,814,020	10.38
2	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	インド	株式	金融	1,152,000	1,060.42 1,221,606,763	1,112.28 1,281,350,016	7.36
3	RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド	株式	エネルギー	829,000	1,245.24 1,032,311,421	1,322.19 1,096,095,510	6.29
4	ICICI BANK LTD-SPON ADR	インド	株式	金融	341,900	2,067.82 706,990,530	2,958.53 1,011,523,322	5.81
5	AXIS BANK LTD	インド	株式	金融	383,000	1,601.60 613,416,301	1,943.11 744,212,279	4.27
6	ITC LTD	インド	株式	生活必需品	2,062,000	331.33 683,214,832	349.76 721,209,244	4.14
7	LARSEN & TOUBRO LTD	インド	株式	資本財・サービス	280,500	1,905.88 534,602,016	2,239.00 628,041,744	3.61
8	TATA MOTORS LTD	インド	株式	一般消費財・サービス	1,335,000	297.09 396,616,128	453.76 605,770,935	3.48
9	RELIANCE INDUSTRIES-GDR	インド	株式	エネルギー	213,000	2,239.67 477,051,158	2,635.00 561,256,874	3.22
10	BAJAJ AUTO LTD	インド	株式	一般消費財・サービス	171,860	2,741.73 471,195,265	2,932.39 503,960,545	2.89
11	MAHINDRA & MAHINDRA LTD	インド	株式	一般消費財・サービス	414,000	1,103.65 456,911,514	1,168.80 483,885,684	2.78
12	COAL INDIA LTD	インド	株式	エネルギー	881,000	530.95 467,768,284	548.54 483,269,907	2.77
13	BHARTI AIRTEL LTD	インド	株式	電気通信サービス	770,000	575.53 443,162,112	569.79 438,742,150	2.52
14	JINDAL STEEL & POWER LTD	インド	株式	素材	427,000	905.83 386,791,253	985.45 420,790,993	2.42
15	OIL & NATURAL GAS CORP LTD	インド	株式	エネルギー	860,000	444.00 381,846,801	470.44 404,581,840	2.32
16	HINDUSTAN UNILEVER LTD	インド	株式	生活必需品	638,000	650.90 415,277,615	632.87 403,774,250	2.32
17	STATE BANK OF INDIA	インド	株式	金融	87,000	3,836.25 333,754,513	3,703.87 322,237,125	1.85
18	KOTAK MAHINDRA BANK LTD	インド	株式	金融	319,000	802.61 256,032,590	914.99 291,882,448	1.68

19	HINDALCO INDUSTRIES LTD	インド	株式	素材	1,178,000	211.48 249,128,152	243.35 286,673,368	1.65
20	STERLITE INDUSTRIES INDIA	インド	株式	素材	1,350,000	170.26 229,857,573	201.19 271,609,200	1.56
21	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	インド	株式	資本財・サービス	487,144	412.92 201,153,936	512.11 249,471,314	1.43
22	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	株式	公益事業	1,331,605	165.14 219,913,717	185.58 247,129,909	1.42
23	NTPC LTD	インド	株式	公益事業	806,381	276.22 222,741,785	298.88 241,013,572	1.38
24	RURAL ELECTRIFICATION CORP	インド	株式	金融	645,500	295.64 190,839,493	354.24 228,664,502	1.31
25	JSW STEEL LTD	インド	株式	素材	154,000	1,028.54 158,396,603	1,317.79 202,939,814	1.17
26	AMBUJA CEMENTS LTD	インド	株式	素材	732,881	254.81 186,745,408	270.66 198,363,770	1.14
27	DABUR INDIA LTD	インド	株式	生活必需品	1,050,746	162.40 170,651,129	171.56 180,267,035	1.03
28	UNITED PHOSPHORUS LTD	インド	株式	素材	682,380	219.61 149,862,931	244.68 166,967,468	0.96
29	GAIL INDIA LTD	インド	株式	公益事業	245,400	616.77 151,356,094	621.17 152,435,609	0.88
30	DLF LTD	インド	株式	金融	390,000	358.42 139,786,342	374.91 146,215,290	0.84

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	95.16%
合計	95.16%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
エネルギー	15.19%
素材	12.24%
資本財・サービス	6.25%
一般消費財・サービス	10.46%
生活必需品	7.49%
金融	36.67%
電気通信サービス	2.92%
公益事業	3.94%

合計	95.16%
----	--------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
株価指数先物取引	シンガポール	SGX CNX NIFTY ETS 2012年3月	買建	500	457,173,220	439,302,600	2.52%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

#### (参考) チャイナ龍翔 (FOFs用) (適格機関投資家専用)

(1) 投資状況

(平成24年2月末現在)

#### チャイナ龍翔 (FOFs用) (適格機関投資家専用)

投資資産の種類	国・地域名	時価合計 (円)	投資比率
親投資信託受益証券 (チャイナ・エクイティ・マザーファンド)	日本	81,646,092	100.29%
純資産総額		81,410,142	-

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

#### <参考：マザーファンドの投資状況>

(平成24年2月末現在)

#### チャイナ・エクイティ・マザーファンド

投資資産の種類	国・地域名	時価合計 (円)	投資比率
株式	中国	1,761,948,270	49.58%
	香港	642,091,923	18.07%
	ケイマン諸島	481,366,912	13.55%
	バミューダ	187,724,160	5.28%
	韓国	133,441,959	3.76%
	台湾	115,611,517	3.25%
	マン島	41,079,240	1.16%
投資信託受益証券	シンガポール	31,730,483	0.89%
投資信託受益証券	香港	39,536,640	1.11%
純資産総額		3,553,684,893	-

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## (2)投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

(平成24年2月末現在)

## イ. 主要銘柄の明細

## チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

	銘柄名 国・地域	種類 業種	株数、口数 又は額面金額	簿価単価(円) 簿価(円)	評価単価(円) 時価(円)	利率(%) 償還期限	投資 比率
1	チャイナ・エクイティ・マ ザーファンド 日本	親投資信託受 益証券 -	164,377,074	0.3912 64,304,458	0.4967 81,646,092	- -	100.29%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

&lt;参考：マザーファンドの主要銘柄の明細&gt;

## チャイナ・エクイティ・マザーファンド

	銘柄名 国・地域	種類 業種	株数、口数 又は額面金額	簿価単価(円) 簿価(円)	評価単価(円) 時価(円)	利率(%) 償還期限	投資 比率
1	CHINA CONSTRUCTION BANK-H 中国	株式 銀行	4,277,100	74 316,679,468	67 289,131,960	- -	8.14%
2	IND & COMM BK OF CHINA - H 中国	株式 銀行	4,765,000	66 319,131,675	58 280,982,520	- -	7.91%
3	CHINA MOBILE LTD 香港	株式 電気通信サー ビス	268,000	780 209,242,688	852 228,550,400	- -	6.43%
4	CNOOC LTD 香港	株式 エネルギー	1,080,000	215 233,064,000	184 199,480,320	- -	5.61%
5	PETROCHINA CO LTD-H 中国	株式 エネルギー	1,080,000	123 133,156,033	122 132,312,960	- -	3.72%
6	TENCENT HOLDINGS LTD ケイマン諸島	株式 ソフトウェア・ サービス	57,400	2,141 122,913,314	2,088 119,869,568	- -	3.37%
7	CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H 中国	株式 エネルギー	1,280,000	83 107,004,963	91 116,879,360	- -	3.29%
8	PING AN INSURANCE CO-H 中国	株式 保険	165,500	891 147,506,840	695 115,062,220	- -	3.24%
9	CHINA SHENHUA ENERGY CO - H 中国	株式 エネルギー	300,000	389 116,772,810	371 111,384,000	- -	3.13%
10	CHINA TELECOM CORP LTD 中国	株式 電気通信サー ビス	2,200,000	51 113,434,875	48 106,849,600	- -	3.01%
11	BANK OF CHINA LTD - H 中国	株式 銀行	2,800,000	43 120,477,817	34 97,843,200	- -	2.75%
12	ZTE CORP-H 中国	株式 テクノロジー・ ハードウェア および機器	380,000	271 103,191,212	240 91,488,800	- -	2.57%

	銘柄名 国・地域	種類 業種	株数、口数 又は額面金額	簿価単価(円) 簿価(円)	評価単価(円) 時価(円)	利率(%) 償還期限	投資 比率
13	ZHAOJIN MINING INDUSTRY - H 中国	株式 素材	560,000	172 96,609,612	160 89,689,600	- -	2.52%
14	CHINA MERCHANTS BANK - H 中国	株式 銀行	439,901	203 89,522,210	186 81,891,970	- -	2.30%
15	CHINA RESOURCES CEMENT ケイマン諸島	株式 素材	1,180,000	81 96,703,360	69 81,854,240	- -	2.30%
16	SAMSUNG ELECTRONICS 韓国	株式 半導体・半導体 製造装置	745	64,745 48,235,621	85,438 63,651,682	- -	1.79%
17	CHINA RESOURCES LAND LTD ケイマン諸島	株式 不動産	380,000	137 52,351,349	156 59,517,120	- -	1.67%
18	CHINA OVERSEAS LAND & INVEST 香港	株式 不動産	327,600	173 56,961,549	173 56,829,427	- -	1.60%
19	LENOVO GROUP LTD 香港	株式 テクノロジー・ ハードウェア および機器	796,000	47 37,418,368	71 56,624,256	- -	1.59%
20	PICC PROPERTY & CASUALTY -H 中国	株式 保険	495,000	113 56,400,390	111 54,980,640	- -	1.55%
21	KUNLUN ENERGY COMPANY LTD バミューダ	株式 エネルギー	380,000	132 50,183,673	135 51,376,000	- -	1.45%
22	HENGAN INTL GROUP CO LTD ケイマン諸島	株式 家庭用品・パー ソナル用品	68,000	664 45,177,328	724 49,291,840	- -	1.39%
23	BELLE INTERNATIONAL HOLDINGS ケイマン諸島	株式 小売	350,000	157 54,964,000	134 46,956,000	- -	1.32%
24	CHINA LIFE INSURANCE CO-H 中国	株式 保険	180,000	288 51,911,688	249 44,834,400	- -	1.26%
25	FAR EASTERN NEW CENTURY 台湾	株式 資本財	432,806	124 53,973,219	101 43,717,734	- -	1.23%
26	CHINA MODERN DAIRY HOLDINGS ケイマン諸島	株式 食品・飲料・タ バコ	2,000,000	25 50,544,000	21 42,224,000	- -	1.19%
27	GENTING SINGAPORE PLC マン島	株式 消費者サービ ス	400,000	139 55,805,760	102 41,079,240	- -	1.16%
28	BRILLIANCE CHINA AUTOMOTI バミューダ	株式 自動車・自動車 部品	440,000	91 40,327,459	92 40,863,680	- -	1.15%
29	ISHARES FTSE A50 CHINA INDEX ETF 香港	投資信託受益 証券 -	320,000	145.3920 46,525,440	123.5520 39,536,640	- -	1.11%
30	CHINA RESOURCES GAS GROUP LT バミューダ	株式 公益事業	300,000	115 34,756,800	121 36,504,000	- -	1.03%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

種類別	投資比率
親投資信託受益証券	100.29%
合計	100.29%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の時価の比率です。

<参考：マザーファンドの投資有価証券の種類別投資比率>  
チャイナ・エクイティ・マザーファンド

種類別	投資比率
株式	95.53%
投資信託受益証券	1.11%
合計	96.65%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の時価の比率です。

#### 八．投資株式の業種別投資比率

チャイナ龍翔（F0Fs用）（適格機関投資家専用）  
該当事項はありません。

<参考：マザーファンドの投資株式の業種別投資比率>  
チャイナ・エクイティ・マザーファンド

業種別	投資比率
(海外)	
銀行	21.75%
エネルギー	18.17%
電気通信サービス	9.93%
保険	7.05%
素材	6.84%
不動産	5.28%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.17%
ソフトウェア・サービス	3.37%
小売	3.03%
半導体・半導体製造装置	2.75%
自動車・自動車部品	2.09%
公益事業	1.91%
運輸	1.70%
資本財	1.69%
食品・飲料・タバコ	1.69%
消費者サービス	1.43%
家庭用品・パーソナル用品	1.39%
各種金融	0.88%
耐久消費財・アパレル	0.41%
小計	95.53%
合計	95.53%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

#### 投資不動産物件

（平成24年2月末現在）

チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

該当事項はありません。

<参考：マザーファンドの投資不動産物件>

チャイナ・エクイティ・マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

（平成24年2月末現在）

チャイナ龍翔（FOFs用）（適格機関投資家専用）

該当事項はありません。

<参考：マザーファンドのその他投資資産の主要なもの>  
チャイナ・エクイティ・マザーファンド

該当事項はありません。

[次へ](#)



## （参考情報）

2012年2月29日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額・純資産の推移

基準価額	12,345円
純資産総額	3.2億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	9.0%
3カ月間	19.3%
6カ月間	8.3%
1年間	-9.8%
3年間	71.9%
5年間	-
設定来	66.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

## 分配の推移（10,000口当たり、税引前）

直近1年間分配金合計額： 0円 設定来分配金合計額： 4,300円

決算期	第1期 09年8月	第2期 10年2月	第3期 10年8月	第4期 11年2月	第5期 11年8月	第6期 12年2月			
分配金	3,000円	1,000円	0円	300円	0円	0円			

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

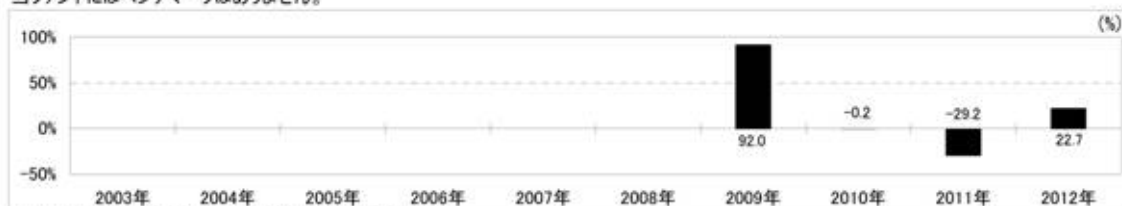
## 主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
BNPパリバ インベストメント・パートナーズ	BNPパリバ・ブラジル株式ファンド	25.3%
大和住銀投信投資顧問	チャイナ龍翔	24.9%
大和証券投資信託委託	ダイワ・ロシア株ファンド	23.1%
大和証券投資信託委託	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	23.0%
合計		96.3%

## 年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。  
・2009年は設定日(2月13日)から年末、2012年は2月29日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

## 第2 【管理及び運営】

### 1 【申込（販売）手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、サンパウロ証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所、ロシア取引システム（RTS）、インドのボンベイ証券取引所、インドのナショナル証券取引所、シンガポール証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行いません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌々営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行いません。委託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行いません。

### 2 【換金（解約）手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

## <一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、サンパウロ証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所、ロシア取引システム（RTS）、インドのボンベイ証券取引所、インドのナショナル証券取引所、シンガポール証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌々営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または委託会社に問合わせるにより知ることができるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

### ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

### ・委託会社のホームページ

アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、一部解約の実行の請求の受け付けを中止することができます。一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該振替受益権の解約価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌々営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して6営業日目から受益者に支払います。

委託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。委託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

## 3 【資産管理等の概要】

## (1) 【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（注）当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・投資信託証券：原則として、計算日の前営業日の基準価額で評価します。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。）、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）
- ・委託会社のホームページ  
アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## (2) 【保管】

該当事項はありません。

## (3) 【信託期間】

平成21年2月13日から平成30年2月20日までとします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

## (4) 【計算期間】

毎年2月21日から8月20日まで、8月21日から翌2月20日までとします。ただし、第1計算期間は、平成21年2月13日から平成21年8月20日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

## (5) 【その他】

## 信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行ないません。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないません。
5. 前2.から前4.までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前2.から前4.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
6. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
7. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
8. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

## 信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1.から7.までに定める以外の方法によって変更することができないものとします。
2. 委託会社は、前1.の事項（前1.の変更事項にあつては、その内容が重大なものに該当する場合に限ります。以下、併合と合わせて「重大な信託約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないません。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。

3. 前2. の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3. において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託約款にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2. の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2. から前5. までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1. から前6. までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1. から前7. までの規定にしたがいます。

#### 反対者の買取請求権

前 1. の1. から5. までの規定にしたがい信託契約の解約を行なう場合または前 1. の規定にしたがい重大な信託約款の変更等を行なう場合には、書面決議において当該解約または重大な信託約款の変更等に反対した受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取すべき旨を請求することができます。この買取請求権の内容および買取請求の手続きに関する事項は、前 1. の2. または前 1. の2. に規定する書面に付記します。

#### 運用報告書

委託会社は、毎計算期末に、期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した運用報告書を作成し、信託財産にかかる知れている受益者に対して交付します。

#### 公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>
2. 前1. の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

#### 関係法人との契約の変更

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

## 4 【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金（分配金額は、委託会社が決定します。）および償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとしします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

#### 換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

### 第3 【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第6期計算期間（平成23年8月23日から平成24年2月20日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

#### 1 【財務諸表】

#### ダイワBRICSリターンズ・ファンド



ダイワB R I C s リターンズ・ファンド  
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	9,270,204	16,388,361
投資信託受益証券	323,639,936	305,623,719
流動資産合計	332,910,140	322,012,080
資産合計	332,910,140	322,012,080
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	-	1,792,832
未払受託者報酬	91,697	61,262
未払委託者報酬	1,834,931	1,226,426
その他未払費用	17,110	11,413
流動負債合計	1,943,738	3,091,933
負債合計	1,943,738	3,091,933
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1 293,146,867	1 261,475,873
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	37,819,535	57,444,274
（分配準備積立金）	16,091,340	13,546,818
元本等合計	330,966,402	318,920,147
純資産合計	330,966,402	318,920,147
負債純資産合計	332,910,140	322,012,080

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第5期	第6期
	自 平成23年2月22日 至 平成23年8月22日	自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
<b>営業収益</b>		
受取利息	4,557	5,153
有価証券売買等損益	85,789,975	21,983,783
営業収益合計	85,785,418	21,988,936
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	91,697	61,262
委託者報酬	1,834,931	1,226,426
その他費用	17,110	11,413
営業費用合計	1,943,738	1,299,101
営業利益又は営業損失（ ）	87,729,156	20,689,835
経常利益又は経常損失（ ）	87,729,156	20,689,835
当期純利益又は当期純損失（ ）	87,729,156	20,689,835
一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	1,469,834	3,048,188
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	150,084,834	37,819,535
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,437,079	1,958,600
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,437,079	1,958,600
剰余金減少額又は欠損金増加額	29,443,056	6,071,884
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	29,443,056	6,071,884
分配金	1 -	1 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	37,819,535	57,444,274

## (3) 【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日  平成23年8月20日及びその翌日が休日のため、前計算期間末日を平成23年8月22日としております。このため、当計算期間は182日となっております。

## (追加情報)

第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
第6期計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

区分	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
1. 1 期首元本額	353,602,571円	293,146,867円
期中追加設定元本額	8,945,270円	15,782,697円
期中一部解約元本額	69,400,974円	47,453,691円
2. 計算期間末日における受益権の総数	293,146,867口	261,475,873口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第5期 自 平成23年2月22日 至 平成23年8月22日	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（0円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（22,341,352円）及び分配準備積立金（16,091,340円）より分配対象額は38,432,692円（1万口当たり1,311.04円）ですが、分配を行っておりません。	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（4,893円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（92,757,236円）及び分配準備積立金（13,541,925円）より分配対象額は106,304,054円（1万口当たり4,065.54円）であり、分配を行っておりません。

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の状況に関する事項

区分	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	第6期 平成24年2月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	83,733,791	24,367,533
合計	83,733,791	24,367,533

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在

該当事項はありません。

該当事項はありません。

## （関連当事者との取引に関する注記）

第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

## （1口当たり情報）

	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1290円 (11,290円)	1.2197円 (12,197円)

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	45,812,153	80,606,483	
	ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	27,723,490	69,353,082	
	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	54,186,582	76,663,176	
	チャイナ龍翔(FOFs用) (適格機関投資家専用)	55,894,282	79,000,978	
投資信託受益証券 合計		183,616,507	305,623,719	
合計		183,616,507	305,623,719	

投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## （参考）

当ファンドは、「BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)」受益証券、「ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)」受益証券、「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)」受益証券及び「チャイナ龍翔(FOFs用) (適格機関投資家専用)」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況は次のとおりであります。

[次へ](#)

## 「BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)」の状況

同ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。同ファンドの計算期間は6ヶ月であるため、財務諸表は6ヶ月ごとに作成しております。同ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に準じて、第6期計算期間（平成23年5月11日から平成23年11月10日まで）の財務諸表について、あらた監査法人による監査を受けております。

## 財務諸表

## BNPパリバ・ブラジル株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

## (1) 貸借対照表

区 分	注記 事項	第5期	注記	第6期
		(平成23年5月10日現在)	事項	(平成23年11月10日現在)
		金額 (円)		金額 (円)
資産の部				
流動資産				
コール・ローン		240,076		240,076
親投資信託受益証券		105,624,308		78,274,278
流動資産合計		105,864,384		78,514,354
資産合計		105,864,384		78,514,354
負債の部				
流動負債				
未払受託者報酬		54,011		37,996
未払委託者報酬		553,526		359,384
その他未払費用		33,696		23,683
流動負債合計		641,233		451,063
負債合計		641,233		451,063
純資産の部				
元本等				
元本	*1	55,586,833	*1.*2	52,857,426
剰余金				
期末剰余金又は期末欠損金(△)		49,636,318		25,205,865
(分配準備積立金)		<b>27,763,732</b>		<b>25,590,040</b>
元本等合計		105,223,151		78,063,291
純資産合計		105,223,151		78,063,291
負債純資産合計		105,864,384		78,514,354

## (2) 損益及び剰余金計算書

区 分		第5期 (自 平成22年11月11日 至 平成23年 5月10日)	第6期 (自 平成23年 5月11日 至 平成23年11月10日)
		金額 (円)	金額 (円)
営業収益			
受取利息		1	-
有価証券売買等損益		△8,948,216	△22,708,801
営業収益合計		△8,948,215	△22,708,801
営業費用			
委託者報酬	*1	64,011	37,996
受託者報酬		559,526	389,384
その他費用		33,695	23,683
営業費用合計		641,233	451,063
営業利益又は営業損失(△)		△9,589,448	△23,159,864
経常利益又は経常損失(△)		△9,589,448	△23,159,864
当期純利益又は当期純損失(△)		△9,589,448	△23,159,864
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		△1,176,557	△1,734,002
期首剰余金又は期首欠損金(△)		75,507,815	49,636,318
剰余金増加額又は欠損金減少額		-	2,504,515
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-	2,504,515
剰余金減少額又は欠損金増加額		17,458,606	5,509,106
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		17,458,606	5,509,106
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-	-
分配金	*2	-	-
期末剰余金又は期末欠損金(△)		49,636,318	25,205,865

## (3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
-----------------	--

## (追加情報)

当期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

第5期 (平成23年5月10日現在)	第6期 (平成23年11月10日現在)
*1 (1) 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額	*1 期首元本額 55,586,833 円
期首元本額 72,304,784 円	期中追加設定元本額 3,495,485 円
期中追加設定元本額 -	期中解約元本額 6,224,892 円
期中解約元本額 16,717,951 円	
*2 計算期間末における受益権の総数 55,586,833 口	*2 計算期間末における受益権の総数 52,857,426 口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

<b>第5期</b> （自 平成22年11月11日 至 平成23年 5月10日）	
*1 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	<b>237,640円</b>
*2 分配金の計算過程 （自 平成22年11月11日 至 平成23年5月10日） 計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,291,942円）、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し繰越欠損金を補填した額（0円）、信託約款に規定される収益調整金（29,058,881円）、及び分配準備積立金（26,471,790円）より分配対象収益は56,822,613円（1万口当たり10,222.29円）であります但当期は分配を行っておりません。	
<b>第6期</b> （自 平成23年 5月11日 至 平成23年11月10日）	
*1 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	<b>167,544円</b>
*2 分配金の計算過程 （自 平成23年5月11日 至 平成23年11月10日） 計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（795,677円）、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し繰越欠損金を補填した額（0円）、信託約款に規定される収益調整金（29,247,737円）、及び分配準備積立金（24,794,371円）より分配対象収益は54,837,785円（1万口当たり10,374.65円）であります但当期は分配を行っておりません。	

（金融商品に関する注記）

・金融商品の状況に関する事項



1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対する投資を行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが親投資信託受益証券を通じて実質的に保有する金融商品の種類は、有価証券（株式）、デリバティブ取引（為替予約取引）、金銭債権及び金銭債務であります。これらは、価格変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、流動性リスクを有しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では、金融商品に係るリスク全般について複数の部署及び会議体において組織的に管理を行っております。これら金融商品に係るリスクについては、パフォーマンス評価及び投資運用委員会により定期的に検証を行い、その結果に基づき関連所轄部門に対する是正勧告を行っております。また、運用部門においては、運用管理の一環として、個別銘柄のチェックやポートフォリオのモニタリングを行っております。さらに、フロント・オフィスとバック・オフィスが分離されていることに加えて、独立した管理部門及び法務・コンプライアンス部によるリスク管理体制が敷かれています。
4. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

### ・金融商品の時価等に関する事項

	第5期 (自 平成22年11月11日 至 平成23年 5月10日)	第6期 (自 平成23年 5月11日 至 平成23年11月10日)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 — (3) 上記以外の金融商品 コールローン等の金銭債権及び金銭債務については、短期間で決済されることから、当該帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 — (3) 上記以外の金融商品 同左

(有価証券に関する注記)

第5期  
（平成23年5月10日現在）

売買目的有価証券 (単位：円)

種 類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	△ 7,862,689
合 計	△ 7,862,689

第6期  
（平成23年11月10日現在）

売買目的有価証券 (単位：円)

種 類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	△ 20,991,569
合 計	△ 20,991,569

（デリバティブ取引に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（一口当たり情報に関する注記）

第5期 （平成23年5月10日現在）		第6期 （平成23年11月10日現在）	
一口当たり純資産額	1.8930 円	一口当たり純資産額	1.4769 円
（一万口当たり純資産額）	18,930 円	（一万口当たり純資産額）	14,769 円

（4）附属明細表

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額（円）	備考
親投資信託 受 益 証 券	BNPパリバ・ブラジル 株式マザーファンド	125,098,735	78,274,278	
合 計		125,098,735	78,274,278	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数字は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考情報）

「BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOfs用)（適格機関投資家専用）」は、「BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託の受益証券であります。なお、同親投資信託の状況は次のとおりであります。

「BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

#### （1）貸借対照表

区 分	注記 番号	(平成23年5月10日現在)	注記 番号	(平成23年11月10日現在)
		金額 (円)		金額 (円)
資産の部				
流動資産				
預金		524,738,176		47,666,668
コール・ローン		396,499,325		571,094,557
株式		69,471,244,104		40,582,591,026
未収入金		973,598,123		834,956,876
未収配当金		830,845,628		235,658,755
未収利息		543		782
流動資産合計		62,196,925,899		42,271,967,654
資産合計		62,196,925,899		42,271,967,654
負債の部				
流動負債				
未払金		330,666,491		18,720,791
未払解約金		559,851,177		195,661,587
流動負債合計		890,517,668		214,382,378
負債合計		890,517,668		214,382,378
純資産の部				
元本等				
元本	*1	76,700,297,591	*1,*2	67,212,654,130
剰余金				
剰余金又は欠損金(△)	*2	△ 15,393,889,360	*3	△ 25,155,268,854
元本等合計		61,306,408,231		42,057,385,276
純資産合計		61,306,408,231		42,057,385,276
負債純資産合計		62,196,925,899		42,271,967,654

（注）親投資信託の計算期間は、原則として毎年5月11日から11月10日まで及び11月11日から翌年5月10日までであります。

#### （2）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建て取引等の処理基準 外貨建て取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条に基づき処理しております。

## （追加情報）

当期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## （貸借対照表に関する注記）

(平成23年3月10日現在)	(平成23年11月10日現在)
*1 (1) 元本の繰替	*1 本証券会に対する預示対象ファンドの繰替における当該 親投資信託の元本額 76,700,297,591 円
本証券会に対する預示対象ファンドの繰替における当該 親投資信託の元本額 90,365,794,455 円	関係中における追加設定元本額 3,315,265,679 円
関係中における追加設定元本額 1,332,915,122 円	関係中における解約元本額 12,892,710,140 円
関係中における解約元本額 15,021,413,016 円	関係中における元本の内訳
関係中における元本の内訳	BIM P-パリバ・ブタジール・ファンド (株式型) 55,053,057,507 円
BIM P-パリバ・ブタジール・ファンド (株式型) 67,261,260,163 円	BIM P-パリバ・ブタジール・ファンド (バランス型) 9,034,667,555 円
BIM P-パリバ・ブタジール・ファンド (バランス型) 9,306,591,414 円	BIM P-パリバ・ブタジール株式ファンド (ROF) 用 (連結信託投資家専用) 125,095,735 円
BIM P-パリバ・ブタジール株式ファンド (ROF) 用 (連結信託投資家専用) 132,145,014 円	計 67,212,554,130 円
計 76,700,297,591 円	*2 本証券会に対する預示対象ファンドの計算期間末日に おける受益権の総数
(2) 本証券会に対する預示対象ファンドの計算期間末日に おける受益権の総数 76,700,297,591 口	*3 元本の内訳 67,212,554,130 口
*2 元本の内訳	資産対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は、25,155,265,554 円であります。
資産対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は、15,333,533,360円 であります。	

## （金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対する投資を行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券(株式)、デリバティブ取引(為替予約取引)、金銭債権及び金銭債務であります。これらは、価格変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、流動性リスクを有しております。当ファンドが行うデリバティブ取引については、為替予約取引を保有外貨建資産の売買代金、配当金の受取または支払いのために利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表「(金融商品に関する注記)」に記載しております。
4. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表「(金融商品に関する注記)」に記載しております。

## 金融商品の時価等に関する事項

	(自 平成22年11月11日 至 平成23年 5月10日)	(自 平成23年 5月11日 至 平成23年11月10日)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。  (2) デリバティブ取引 —  (3) 上記以外の金融商品 コールローン等の金銭債権及び金銭債務については、短期間で決済されることから、当該帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左  (2) デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。  (3) 上記以外の金融商品 同左

## (有価証券に関する注記)

(平成23年5月10日現在)

売買目的有価証券

(単位:円)

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株 式	△ 6,732,754,042
合 計	△ 6,732,754,042

(注) 当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当該親投資信託の期首日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間に対応する金額であります。



(平成23年11月10日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種 類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
株 式	△ 5,094,340,139
合 計	△ 5,094,340,139

(注) 当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当該親投資信託の期首日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間に対応する金額であります。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(単位：円)

区 分	(平成23年5月10日現在)				(平成23年11月10日現在)			
	契約額等		時 価	評価損益	契約額等		時 価	評価損益
	数量	金額			数量	金額		
非換算型デリバティブ取引	為替予約取引							
	売建							
	未ドル	-	-	-	-	116,760,000	-	116,760,000
合 計	-	-	-	-	116,760,000	-	116,760,000	-

(注) 時価等の算定方法

(1) 本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。

同計算期間末日において為替予約の受渡日（以下「当該日」という）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しています。

同計算期間末日において当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、以下の方法によっています。

- ・同計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しています。
- ・同計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いています。

(2) 同計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しています。

(3) 換算において円未満の端数は切り捨てております。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(一口当たり情報に関する注記)

(平成23年5月10日現在)		(平成23年11月10日現在)	
一口当たり純資産額	0.7993 円	一口当たり純資産額	0.6257 円
(一万口当たり純資産額)	7,993 円)	(一万口当たり純資産額)	6,257 円)

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表  
株式

通貨	銘柄	株数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル					
	CIA BRASILEIRA ADR	157	36.89	5,791.73	
	GERDAU SA -SPON ADR	428,667	8.57	3,673,676.19	
	TELE NORTE LESTE PAR	82,621	10.22	844,386.62	
	PETROBRAS ADR	2,667	26.34	70,248.78	
	AMBEV-PRF ADR	182,836	33.10	6,051,871.60	
	ITAU UNIBANCO ADR	630,737	17.67	11,145,122.79	
	VALE SA-SP ADR	78,425	25.18	1,974,741.50	
	VALE SA-SP PEF ADR	11,027	23.38	257,811.26	
	BANCO BRADESCO-ADR	443,171	17.35	7,689,016.85	
	COSAN LTD-CLASS A SH	406,840	11.36	4,621,702.40	
	TELEF BRASIL-ADR	56,840	27.99	1,590,951.60	
	米ドル 小計	2,323,988	-	<b>37,925,321.32</b> (2,952,486,264)	
ブラジルリアル					
	BRF-BRASIL FOODS SA	504,203	35.60	17,949,626.80	
	CYRELA	80,437	14.15	1,138,183.55	
	VALE SA	1,250,235	44.96	56,210,565.60	
	COPEL-PREF B	570,648	33.74	19,253,663.52	
	VALE SA-PREF A	1,378,182	41.78	57,580,443.96	
	TIM PARTICIPACOES SA	2,061,916	8.56	17,650,000.96	
	TAM SA	27,872	34.49	961,305.28	
	TAM SA-PREF	103,936	34.89	3,626,327.04	
	BANCO DO BRASIL	962,095	24.72	23,782,988.40	
	AMBEV-PREF	2	57.90	115.80	
	USIMINAS-PREF A	1,567,997	11.85	18,580,764.45	
	ITAUSA-PREF	1,794,758	10.47	18,791,116.26	
	GAFISA	2,111,110	6.00	12,666,660.00	
	LOJAS AMERIC-PRF	1,043,436	14.55	15,181,993.80	
	GERDAU-PREF	2,132,072	15.20	32,407,494.40	
	METALURGICA GERDAU-P	677,680	18.90	12,808,152.00	
	PETROBRAS	1,490,696	23.25	34,658,682.00	
	PETROBRAS-PREF	3,939,220	21.46	84,535,661.20	
	KLABIN SA-PREF	2,522,200	6.45	16,268,190.00	
	CCR SA	224,314	46.70	10,475,463.80	
	BRADESCO SA-PREF	519,173	30.70	15,938,611.10	
	CIA HERING	87,586	38.05	3,332,647.30	
	NATURA COSMETICOS	227,520	34.19	7,778,908.80	
	GOL-PREF	291,108	13.81	4,020,201.48	
	BRADESPAR SA PEF	466,386	34.92	16,286,199.12	
	TELE NORTE L-PRF	460,234	18.00	8,284,212.00	
	ITAU UNIBANCO HOLDIN	1,495,782	31.73	47,461,162.86	
	DIAGNOSTICOS DA AMER	6	14.05	84.30	
	FIBRIA CELULOSE SA	179,485	14.13	2,536,123.05	
	BRASKEM PEF	343,166	14.80	5,078,856.80	
	COSAN	732,390	26.68	19,540,165.20	
	LIGHT SA	104,914	26.51	2,781,270.14	

ROSSI RESIDENCIAL	557,729	9.80	5,465,744.20
VALE FERTILIZANTES P	1,200	24.59	29,508.00
EMBRAER SA	6,251	11.56	72,261.56
CESP-PREF B	264,138	29.96	7,913,574.48
MMX MINERACAO	1,090,452	6.86	7,480,500.72
OGX PETROLEO E GAS P	3,507,485	13.95	48,929,415.75
BR PROPERTIES SA	123,871	18.40	2,279,226.40
B2W VAREJO	143,921	12.48	1,796,134.08
PDG REALTY	5,526,041	7.07	39,069,109.87
TECNISA SA	191,128	9.77	1,867,320.56
EVEN CONSTRUTORA	1,649,902	6.38	10,526,374.76
BRASIL TELECOM SA-PR	345,256	11.22	3,873,772.32
CEMIG-PREF	325,754	28.69	9,345,882.26
REDECARD SA	192,046	29.75	5,713,368.50
MRV ENGENHARIA	1,268,871	10.90	13,830,693.90
KROTON EDUCACIONAL S	119,257	18.29	2,181,210.53
DURATEX SA	742,062	8.75	6,493,042.50
BRASIL BROKERS	850,896	6.37	5,420,207.52
HYPERMARCAS SA	1,661,370	7.90	13,124,823.00
BM&F BOVESPA SA	3,331,299	10.33	34,412,318.67
BRAZIL PHARMA SA	138,259	15.70	2,170,666.30
TELEFONICA BRASIL SA	123,760	49.70	6,150,872.00
MAGAZINE LUIZA SA	176,622	12.60	2,225,437.20
HRT PARTICIPACOES	8,534	737.90	6,297,238.60
FLEURY SA	42,200	21.99	927,978.00
ECORODOVIAS INFRA E	492,278	12.92	6,360,231.76
JSL SA	325,375	8.58	2,791,717.50
MILLS ESTRUTURAS E S	249,183	17.90	4,460,375.70
CIA BRASILEIRA PREF	149,000	64.75	9,647,750.00
CIELO SA	170,628	47.19	8,051,935.32
SONAE SIERRA BRASIL	168,368	22.80	3,838,790.40
ブラジルリアル 小計	53,293,895	-	860,313,323.33 (37,630,104,762)
合計	株 55,617,883		40,582,591,026 (40,582,591,026)

(注1)通貨種類毎の小計欄の( )内は邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)小計・合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので内書であります。

(注3)外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式11銘柄	100%	7.3%
ブラジルリアル	株式63銘柄	100%	92.7%

株式以外の有価証券  
該当事項はありません。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)」の状況



同ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しておりますなお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。同ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。同ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査に準じて、第6期計算期間（平成23年8月23日から平成24年2月20日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

## 財務諸表

## ダイワ・ロシア株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

## (1) 貸借対照表

	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,135,353	679,361
親投資信託受益証券	70,887,943	70,535,544
流動資産合計	72,023,296	71,214,905
資産合計	72,023,296	71,214,905
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	21,302	13,750
未払委託者報酬	432,299	279,244
その他未払費用	2,573	1,622
流動負債合計	456,174	294,616
負債合計	456,174	294,616
純資産の部		
元本等		
元本	1 31,448,709	27,723,490
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	40,118,413	43,196,799
（分配準備積立金）	34,386,981	30,313,838
元本等合計	71,567,122	70,920,289
純資産合計	71,567,122	70,920,289
負債純資産合計	72,023,296	71,214,905

## (2) 損益及び剰余金計算書

	第5期	第6期
	自 平成23年2月22日 至 平成23年8月22日	自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
	金額（円）	金額（円）
営業収益		
受取利息	332	183
有価証券売買等損益	20,507,244	7,647,601
営業収益合計	20,506,912	7,647,784
営業費用		
受託者報酬	21,302	13,750
委託者報酬	1 432,299	279,244
その他費用	2,573	1,622
営業費用合計	456,174	294,616
営業利益又は営業損失（ ）	20,963,086	7,353,168
経常利益又は経常損失（ ）	20,963,086	7,353,168
当期純利益又は当期純損失（ ）	20,963,086	7,353,168
一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	275,180	477,463
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	72,851,722	40,118,413
剰余金減少額又は欠損金増加額	12,045,403	4,752,245
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	12,045,403	4,752,245
分配金	2 -	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	40,118,413	43,196,799

## (3) 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区分	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日  平成23年8月20日及びその翌日が休日のため、前計算期間末日を平成23年8月22日としております。このため、当計算期間は182日となっております。

## （追加情報）

第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
-------------------------------------

第6期計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（貸借対照表に関する注記）

区 分	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
1. 1 期首元本額	37,678,496円	31,448,709円
期中追加設定元本額	- 円	- 円
期中一部解約元本額	6,229,787円	3,725,219円
2. 計算期間末日における受益 権の総数	31,448,709口	27,723,490口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区 分	第5期 自 平成23年2月22日 至 平成23年8月22日	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 1 投資信託財産（親投資信託） の運用の指図に係る権限の全 部または一部を委託するた めに要する費用	201,306円	130,556円
2. 2 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（0円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（10,491,510円）及び分配準備積立金（34,386,981円）より分配対象額は44,878,491円（1万口当たり14,270.38円）であります。なお、分配を行っておりません。	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（183円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（23,289,823円）及び分配準備積立金（30,313,655円）より分配可能額は53,603,661円（1万口当たり19,335.11円）であります。なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益であり、分配を行っておりません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	第6期 平成24年2月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	20,299,468	8,112,740
合計	20,299,468	8,112,740

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## （関連当事者との取引に関する注記）

第6期 自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

## （1口当たり情報）

	第5期 平成23年8月22日現在	第6期 平成24年2月20日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2,2757円 (22,757円)	2,5581円 (25,581円)

## (4) 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	ダイワ・ロシア株マザーファンド	85,487,268	70,535,544	
親投資信託受益証券 合計		85,487,268	70,535,544	
合計		85,487,268	70,535,544	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## （参考情報）

「ダイワ・ロシア株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」は、「ダイワ・ロシア株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	平成23年8月22日現在	平成24年2月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	1,090,854,678	459,743,761
コール・ローン	200,084,354	116,045,946
株式	8,192,868,042	8,740,468,540

未収入金		124,819,760	50,355,904
未収配当金		81,527,988	-
流動資産合計		9,690,154,822	9,366,614,151
資産合計		9,690,154,822	9,366,614,151
負債の部			
流動負債			
未払金		459,481,390	79,824,859
未払解約金		-	35,000,000
流動負債合計		459,481,390	114,824,859
負債合計		459,481,390	114,824,859
純資産の部			
元本等			
元本	1	12,642,137,443	11,212,552,842
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2	3,411,464,011	1,960,763,550
元本等合計		9,230,673,432	9,251,789,292
純資産合計		9,230,673,432	9,251,789,292
負債純資産合計		9,690,154,822	9,366,614,151

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金  原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準

外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （追加情報）

自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
本報告書における開示対象ファンドの当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	平成23年8月22日現在	平成24年2月20日現在
1. 1 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	14,814,418,008円	12,642,137,443円
同期中における追加設定元本額	328,148,696円	565,873,626円
同期中における一部解約元本額	2,500,429,261円	1,995,458,227円
同期末における元本の内訳		
ファンド名		
ダイワ・ロシア株ファンド （F0Fs用）（適格機関投資家専用）	97,080,174円	85,487,268円
ダイワ・ロシア株ファンド	11,374,355,402円	9,919,134,353円
ダイワ新興4カ国株式ファンド （ダイワSMA専用）	1,170,701,867円	1,207,931,221円
計	12,642,137,443円	11,212,552,842円
2. 本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	12,642,137,443口	11,212,552,842口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,411,464,011円です。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,960,763,550円です。

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 平成23年8月23日 至 平成24年2月20日
-----	------------------------------

1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。外貨建資産の売買代金、配当金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	平成24年2月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	平成23年8月22日現在	平成24年2月20日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	1,926,046,205	809,870,706
合計	1,926,046,205	809,870,706

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間（平成23年2月22日から平成23年8月22日まで、及び平成23年8月23日から平成24年2月20日まで）を指しております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

平成23年8月22日現在	平成24年2月20日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (1口当たり情報)



	平成23年8月22日現在	平成24年2月20日現在
本報告書における開示対象ファンドの期末における当該親投資信託の1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.7302円 (7,302円)	0.8251円 (8,251円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカ・ドル		株	アメリカ・ドル	アメリカ・ドル	
	MECHEL-ADR	140,000	10.660	1,492,400.000	
	MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	255,000	17.740	4,523,700.000	
	VTB BANK OJSC-GDR-REG S	890,000	4.768	4,243,520.000	
	NOVOLIPET STEEL-GDR REG S	100,000	24.890	2,489,000.000	
	TATNEFT-SPONSORED REGS GD	19	37.250	707.750	
	SURGUTNEFTEGAZ-SP ADR	70,000	9.780	684,600.000	
	SISTEMA JSFC-REG S SPONS	60,000	20.400	1,224,000.000	
	MAGNIT OJSC-SPON GDR REGS	200,000	27.780	5,556,000.000	
	URALKALI-SPON GDR	105,000	39.980	4,197,900.000	
	NOVATEK OAO-SPONS GDR REG	73,000	137.100	10,008,300.000	
	TMK-GDR REG S	40,000	13.170	526,800.000	
	SEVERSTAL-GDR REG S	260,000	14.540	3,780,400.000	
	IDGC HOLDING JSC-CLS	13,000,000	0.099	1,287,000.000	
	INTER RAO UES-CLS	1,500,000,000	0.001	1,500,000.000	
	SBERBANK-PFD-CLS	380,000	2.250	855,000.000	
	SURGUTNEFTEGAZ-PFD-CLS	4,500,000	0.629	2,830,500.000	
	ALROSA CO LTD	500,000	1.130	565,000.000	
	SBERBANK-CLS	3,170,000	3.245	10,286,650.000	
	TRANSNEFT-PFD-CLS	2,530	1,750.000	4,427,500.000	
	SEVERSTAL-CLS	61,000	15.136	923,296.000	
	ROSTELECOM-CLS	850,000	5.030	4,275,500.000	
	TATNEFT-CLS	920,000	6.110	5,621,200.000	
	SURGUTNEFTEGAZ-CLS	3,250,000	0.878	2,853,500.000	
MMC NORILSK NICKEL-CLS	25,000	175.200	4,380,000.000		
GAZPROM OAO-CLS	1,500,000	6.400	9,600,000.000		
ROSNEFT OIL COMPANY	340,000	7.500	2,550,000.000		
LUKOIL-CLS	184,000	62.600	11,518,400.000		
FEDERAL HYDROGENERATING C	125,283,738	0.036	4,510,214.560		
FEDERAL GRID CO UNIFIED-C	280,000,000	0.011	3,080,000.000		
アメリカ・ドル 小計		株 1,936,159,287		アメリカ・ドル 109,791,088.310 (8,740,468,540)	
合計		株 1,936,159,287		8,740,468,540 [8,740,468,540]	

- (2) 株式以外の有価証券  
該当事項はありません。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。  
2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	株式 29銘柄	100%	100%

- 第2 信用取引契約残高明細表  
該当事項はありません。

- 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド (F0Fs用) (適格機関投資家専用)」の状況

同ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。同ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。同ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査に準じて、第6期計算期間(平成23年6月17日から平成23年12月16日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

#### 財務諸表

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド (F0Fs用) (適格機関投資家専用)

##### (1) 貸借対照表

	第5期 平成23年6月16日現在	第6期 平成23年12月16日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,857,578	646,024
親投資信託受益証券	97,365,002	59,049,290
流動資産合計	99,222,580	59,695,314
資産合計	99,222,580	59,695,314
負債の部		
流動負債		
未払解約金	999,999	-

未払受託者報酬		23,906	16,510
未払委託者報酬		484,805	335,179
その他未払費用		2,909	1,971
流動負債合計		1,511,619	353,660
負債合計		1,511,619	353,660
純資産の部			
元本等			
元本	1	61,670,286	54,186,582
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金( )		36,040,675	5,155,072
(分配準備積立金)		21,958,936	19,294,228
元本等合計		97,710,961	59,341,654
純資産合計		97,710,961	59,341,654
負債純資産合計		99,222,580	59,695,314

## (2) 損益及び剰余金計算書

	第5期 自 平成22年12月17日 至 平成23年6月16日		第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日	
	金額(円)		金額(円)	
営業収益				
受取利息		486		65
有価証券売買等損益		14,141,453		27,015,712
営業収益合計		14,140,967		27,015,647
営業費用				
受託者報酬		23,906		16,510
委託者報酬	1	484,805		335,179
その他費用		2,909		1,971
営業費用合計		511,620		353,660
営業損失( )		14,652,587		27,369,307
経常損失( )		14,652,587		27,369,307
当期純損失( )		14,652,587		27,369,307
一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ( )		1,863,317		857,223
期首剰余金又は期首欠損金( )		56,967,596		36,040,675
剰余金増加額又は欠損金減少額		1,081,841		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額		1,081,841		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		9,219,492		4,373,519
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額		9,219,492		4,373,519
分配金	2	-		-
期末剰余金又は期末欠損金( )		36,040,675		5,155,072

## (3) 注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

## (追加情報)

第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
第6期計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	第5期 平成23年6月16日現在	第6期 平成23年12月16日現在
1. 1 期首元本額	71,395,952円	61,670,286円
期中追加設定元本額	1,918,159円	- 円
期中一部解約元本額	11,643,825円	7,483,704円
2. 計算期間末日における受益権の総数	61,670,286口	54,186,582口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第5期 自 平成22年12月17日 至 平成23年6月16日	第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
1. 1 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	282,913円	196,590円

2. 2 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（0円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（19,125,492円）及び分配準備積立金（21,958,936円）より分配対象額は41,084,428円（1万口当たり6,661.95円）であります。分配を行っておりません。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（0円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（16,804,623円）及び分配準備積立金（19,294,228円）より分配対象額は36,098,851円（1万口当たり6,661.95円）であります。分配を行っておりません。</p>
---------------	--	--

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第6期 平成23年12月16日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	第5期 平成23年6月16日現在	第6期 平成23年12月16日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	12,310,281	26,057,068
合計	12,310,281	26,057,068

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第5期 平成23年6月16日現在	第6期 平成23年12月16日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第6期 自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第5期 平成23年6月16日現在	第6期 平成23年12月16日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.5844円 (15,844円)	1.0951円 (10,951円)

#### (4) 附属明細表

##### 第1 有価証券明細表

###### (1) 株式

該当事項はありません。

###### (2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	ダイワ・インド株アクティブ・マザー ファンド	154,457,993	59,049,290	
親投資信託受益証券 合計		154,457,993	59,049,290	
合計		154,457,993	59,049,290	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

##### 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

##### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## （参考情報）

「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」は、「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況は次のとおりであります。

## 「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	平成23年6月16日現在	平成23年12月16日現在	
	金額（円）	金額（円）	
資産の部			
流動資産			
預金	574,573,908	438,432,757	
コール・ローン	229,516,381	89,382,126	
株式	22,334,902,559	13,213,782,688	
派生商品評価勘定	4,963,033	-	
未収入金	-	190,367,147	
未収配当金	80,168,908	-	
差入委託証拠金	26,257,548	26,765,748	
流動資産合計	23,250,382,337	13,958,730,466	
資産合計	23,250,382,337	13,958,730,466	
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定	-	4,297,872	
未払金	89,470,738	148,683,439	
未払解約金	75,000,000	80,000,000	
流動負債合計	164,470,738	232,981,311	
負債合計	164,470,738	232,981,311	
純資産の部			
元本等			
元本	1	41,895,923,564	35,904,810,133
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2	18,810,011,965	22,179,060,978
元本等合計		23,085,911,599	13,725,749,155
純資産合計		23,085,911,599	13,725,749,155
負債純資産合計		23,250,382,337	13,958,730,466

## 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	(1)先物取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。  (2)為替予約取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金  原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準  外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （追加情報）

自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
本報告書における開示対象ファンドの当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	平成23年6月16日現在	平成23年12月16日現在



1.	1 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	46,793,541,931円	41,895,923,564円
	同期中における追加設定元本額	5,406,380円	- 円
	同期中における一部解約元本額	4,903,024,747円	5,991,113,431円
	同期末における元本の内訳		
	ファンド名		
	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	176,705,993円	154,457,993円
	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	41,719,217,571円	35,750,352,140円
	計	41,895,923,564円	35,904,810,133円
2.	本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	41,895,923,564口	35,904,810,133口
3.	2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は18,810,011,965円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は22,179,060,978円であります。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成23年6月17日 至 平成23年12月16日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従って外国の取引所における株価指数先物取引を利用しております。また、外貨建資産の売買代金、配当金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	平成23年12月16日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	平成23年6月16日現在	平成23年12月16日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	1,938,643,452	2,221,833,013
合計	1,938,643,452	2,221,833,013

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間（平成22年12月17日から平成23年6月16日まで、及び平成23年6月17日から平成23年12月16日まで）を指しております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 株式関連

種類	平成23年6月16日 現在				平成23年12月16日 現在			
	契約額等 （円）	うち 1年超	時価 （円）	評価損益 （円）	契約額等 （円）	うち 1年超	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引 株価指数 先物取引 買建	215,672,380	-	220,635,413	4,963,033	226,899,612	-	222,601,740	4,297,872
合計	215,672,380	-	220,635,413	4,963,033	226,899,612	-	222,601,740	4,297,872

## （注） 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は本報告書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## （1口当たり情報）

	平成23年6月16日現在	平成23年12月16日現在
本報告書における開示対象ファンドの期末における当該親投資信託の1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	0.5510円 (5,510円)	0.3823円 (3,823円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカ・ドル	STERLITE INDUSTRIES -ADR	株 114,000	アメリカ・ドル 7.080	アメリカ・ドル 807,120.000	
	ICICI BANK LTD-SPON ADR	341,900	25.630	8,762,897.000	
	RELIANCE INDS-SPONS GDR	213,000	27.760	5,912,880.000	
アメリカ・ドル 小計		株 668,900		アメリカ・ドル 15,482,897.000 (1,205,498,360)	
インド・ルピー	TATA STEEL LIMITED	株 459,000	インド・ルピー 375.250	インド・ルピー 172,239,750.000	
	AXIS BANK LIMITED	378,000	949.100	358,759,800.000	
	ACC LIMITED	26,333	1,140.350	30,028,836.550	
	TATA POWER COMPANY LIMITE	126,980	90.700	11,517,086.000	
	BANK OF BARODA	61,419	719.500	44,190,970.500	
	DLF LIMITED	133,000	202.900	26,985,700.000	
	ASIAN PAINTS LTD	20,034	2,786.200	55,818,730.800	
	HINDUSTAN UNILEVER LIMITE	536,000	395.200	211,827,200.000	
	NTPC LIMITED	956,381	166.400	159,141,798.400	
	POWER GRID CORP OF INDIA	1,306,605	99.350	129,811,206.750	
	TITAN INDUSTRIES LIMITED	259,000	163.250	42,281,750.000	
	BAJAJ AUTO LIMITED	178,360	1,651.650	294,588,294.000	
	CAIRN INDIA LIMITED	150,000	300.950	45,142,500.000	
	IDEA CELLULAR LIMITED	1,250,000	85.200	106,500,000.000	
	STEEL AUTHORITY OF INDIA	400,000	77.150	30,860,000.000	
	JINDAL STEEL & POWER LTD	520,000	526.800	273,936,000.000	
	BANK OF INDIA	114,748	317.950	36,484,126.600	
	MUNDRA PORT AND SEZ LIMIT	300,000	127.050	38,115,000.000	
	ULTRATECH CEMENT LTD	50,863	1,147.400	58,360,206.200	
	KOTAK MAHINDRA BANK LTD	338,000	483.500	163,423,000.000	
ADITYA BIRLA NUVO LIMITED	41,443	835.200	34,613,193.600		
LIC HOUSING FINANCE	291,000	218.100	63,467,100.000		
SOBHA DEVELOPERS LTD	207,363	225.500	46,760,356.500		

RURAL ELECTRIFICATION COR	795,500	178.100	141,678,550.000	
COAL INDIA LTD	546,000	311.650	170,160,900.000	
RAYMOND LTD	78,000	369.500	28,821,000.000	
ZEE ENTERTAINMENT ENTERPR	433,162	120.950	52,390,943.900	
GAIL INDIA LTD	419,400	371.550	155,828,070.000	
HINDALCO INDUSTRIES LIMIT	1,325,000	127.400	168,805,000.000	
LARSEN & TOUBRO LIMITED	250,500	1,133.100	283,841,550.000	
TATA MOTORS LTD	1,085,000	172.650	187,325,250.000	
BHARAT HEAVY ELECTRICALS	844,144	248.750	209,980,820.000	
RELIANCE COMMUNICATION LT	245,000	69.600	17,052,000.000	
HOUSING DEVELOPMENT FINAN	1,244,000	636.400	791,681,600.000	
INFRASTRUCTURE DEV FINANC	1,035,487	107.850	111,677,272.950	
HDFC BANK LIMITED	2,140,000	431.350	923,089,000.000	
ICICI BANK LTD	176,500	698.600	123,302,900.000	
RELIANCE INDUSTRIES LIMIT	1,032,000	750.150	774,154,800.000	
OIL & NATURAL GAS CORP LT	571,000	251.100	143,378,100.000	
ITC LTD	2,980,000	199.600	594,808,000.000	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	414,000	664.850	275,247,900.000	
HERO MOTOCORP LTD	65,000	1,956.100	127,146,500.000	
BHARTI AIRTEL LIMITED	395,000	336.650	132,976,750.000	
UNITED PHOSPHORUS LTD	732,380	132.300	96,893,874.000	
AMBUJA CEMENTS LIMITED	732,881	153.500	112,497,233.500	
DABUR INDIA LIMITED	803,246	97.900	78,637,783.400	
STERLITE INDUSTRIES INDIA	350,000	93.350	32,672,500.000	
インド・ルピー 小計	株 26,797,729		インド・ルピー 8,168,900,903.650 (12,008,284,328)	
合計	株 27,466,629		13,213,782,688 [13,213,782,688]	

## (2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	株式 3銘柄	100%	9.1%
インド・ルピー	株式 47銘柄	100%	90.9%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

## 「チャイナ龍翔(FOFs用)(適格機関投資家専用)」の状況

同ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載されている金額は、円単位で表示しております。同ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に準じて、第5期計算期間(平成23年4月12日から平成23年10月11日まで)の財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による監査を受けております。

## 財務諸表

## チャイナ龍翔(FOFs用)(適格機関投資家専用)

## (1) 貸借対照表

区 分	第4期 平成23年4月11日現在 金額(円)	第5期 平成23年10月11日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	132,982,749	70,473,517
未収入金	2,000,000	-
流動資産合計	134,982,749	70,473,517
資産合計	134,982,749	70,473,517
負債の部		
流動負債		
未払解約金	2,999,999	-
未払受託者報酬	29,489	21,335
未払委託者報酬	546,316	395,647
その他未払費用	8,771	6,325
流動負債合計	3,584,575	423,307
負債合計	3,584,575	423,307
純資産の部		
元本等		
元本	73,077,449	60,969,136
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	58,320,725	9,081,074
(分配準備積立金)	24,561,049	21,996,895
元本等合計	131,398,174	70,050,210
純資産合計	131,398,174	70,050,210
負債純資産合計	134,982,749	70,473,517

## (2) 損益及び剰余金計算書

区 分	第4期 自平成22年10月13日 至平成23年4月11日 金額(円)	第5期 自平成23年4月12日 至平成23年10月11日 金額(円)
営業収益		

有価証券売買等損益	8,813,125	42,924,658
営業収益合計	8,813,125	42,924,658
営業費用		
受託者報酬	29,489	21,335
委託者報酬	546,316	395,647
その他費用	8,771	6,325
営業費用合計	584,576	423,307
営業利益又は営業損失（ ）	8,228,549	43,347,965
経常利益又は経常損失（ ）	8,228,549	43,347,965
当期純利益又は当期純損失（ ）	8,228,549	43,347,965
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	285,386	3,771,441
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	65,729,782	58,320,725
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	15,922,992	9,663,127
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	15,922,992	9,663,127
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	58,320,725	9,081,074

## ( 3 ) 注記表

( 重要な会計方針に係る事項に関する注記 )

項目	第 5 期 自 平成23年 4 月12日 至 平成23年10月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額で評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

## ( 追加情報 )

第 5 期 自 平成23年 4 月12日 至 平成23年10月11日
当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月 4 日）を適用しております。

## ( 貸借対照表に関する注記 )

項目	第 4 期 平成23年 4 月11日現在	第 5 期 平成23年10月11日現在
1. 元本状況		
期首元本額	96,439,836円	73,077,449円
期中追加設定元本額	-	-

期中一部解約元本額	23,362,387円	12,108,313円
2. 受益権の総数	73,077,449口	60,969,136口

## ( 損益及び剰余金計算書に関する注記 )

第4期 自 平成22年10月13日 至 平成23年4月11日	第5期 自 平成23年4月12日 至 平成23年10月11日
1. 親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 257,497円	1. 親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 185,882円
2. 分配金の計算過程 該当事項はありません。	2. 分配金の計算過程 該当事項はありません。

## ( 金融商品に関する注記 )

## 金融商品の状況に関する事項

項目	第5期 自 平成23年4月12日 至 平成23年10月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有している金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であります。なお、当ファンドは親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資し、また、デリバティブ取引を行っております。これらの金融商品に係るリスクは、価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク及び流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のファンドの運用におけるリスク管理については、運用部門から独立した組織体制で行っております。運用管理委員会（代表取締役社長を委員長とします。）は、ファンドの運用状況を総合的に分析・評価するとともに、運用リスク管理の強化・改善に向けた方策を討議・決定しております。また、プロダクト管理部運用審査室は、ファンドのパフォーマンス分析・評価並びにリスク分析を行い、運用本部に開示するとともに、運用管理委員会を通じて、運用リスクの軽減に向けた提言を行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	第5期 平成23年10月11日現在
----	----------------------

1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

## 第4期（平成23年4月11日現在）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	9,217,252
合計	9,217,252

## 第5期（平成23年10月11日現在）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	38,947,810
合計	38,947,810

## (デリバティブ取引等関係に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 第4期（平成23年4月11日現在）

該当事項はありません。

## 第5期（平成23年10月11日現在）

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

## 第5期（自平成23年4月12日至平成23年10月11日）

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

第4期 平成23年4月11日現在	第5期 平成23年10月11日現在
1口当たり純資産額 1.7981円 「1口 = 1円（10,000口 = 17,981円）」	1口当たり純資産額 1.1489円 「1口 = 1円（10,000口 = 11,489円）」

## (4) 附属明細表

## 有価証券明細表

## &lt;株式以外の有価証券&gt;

通貨	種類	銘柄	口数	評価額	備考
円	親投資信託 受益証券	チャイナ・エクイティ ・マザーファンド	180,147,029	70,473,517	
合計 1銘柄			180,147,029	70,473,517	



## &lt; 参考情報 &gt;

「チャイナ龍翔(F0Fs用) (適格機関投資家専用)」は、「チャイナ・エクイティ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンドの受益証券であります。

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

チャイナ・エクイティ・マザーファンド

## ( 1 ) 貸借対照表

区 分	平成23年4月11日現在 金額(円)	平成23年10月11日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	73,342,449	72,792,031
コール・ローン	181,953,434	84,546,182
株式	5,665,488,572	2,966,310,228
投資信託受益証券	119,294,136	53,220,336
未収配当金	2,823,612	4,551,802
流動資産合計	6,042,902,203	3,181,420,579
資産合計	6,042,902,203	3,181,420,579
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	22
未払解約金	43,271,060	-
流動負債合計	43,271,060	22
負債合計	43,271,060	22
純資産の部		
元本等		
元本	9,876,804,643	8,131,585,270
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	3,877,173,500	4,950,164,713
元本等合計	5,999,631,143	3,181,420,557
純資産合計	5,999,631,143	3,181,420,557
負債純資産合計	6,042,902,203	3,181,420,579

## ( 2 ) 注記表

( 重要な会計方針に係る事項に関する注記 )

項目	自 平成23年4月12日 至 平成23年10月11日

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式及び投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等の提示する気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>また、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託会社と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	個別法に基づき原則として時価で評価しております。
3. 収益及び費用の計上基準	<p>(1) 受取配当金 外国株式についての受取配当金は、原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定しているものについては当該金額、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p> <p>(2) 有価証券売買等損益及び為替予約取引による為替差損益 約定日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。</p>

## (追加情報)

自 平成23年 4月12日 至 平成23年10月11日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	平成23年 4月11日現在	平成23年10月11日現在
1. 元本状況 開示対象ファンドの計算期間の期首における当該親投資信託の元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額  元本の内訳 チャイナ龍翔 チャイナ龍翔（F0Fs用）（適格機関投資家専用） 合計	          11,831,678,220円 11,450,773円 1,966,324,350円  9,657,866,958円 218,937,685円 9,876,804,643円	          9,876,804,643円 17,961,709円 1,763,181,082円  7,951,438,241円 180,147,029円 8,131,585,270円

2. 受益権の総数	9,876,804,643口	8,131,585,270口
3. 元本の欠損	3,877,173,500円	4,950,164,713円

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

項目	自 平成23年4月12日 至 平成23年10月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有している金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であります。これらの金融商品に係るリスクは、価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク及び流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社のファンドの運用におけるリスク管理については、運用部門から独立した組織体制で行っております。運用管理委員会（代表取締役社長を委員長とします。）は、ファンドの運用状況を総合的に分析・評価するとともに、運用リスク管理の強化・改善に向けた方策を討議・決定しております。また、プロダクト管理部運用審査室は、ファンドのパフォーマンス分析・評価並びにリスク分析を行い、運用本部に開示するとともに、運用管理委員会を通じて、運用リスクの軽減に向けた提言を行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	平成23年10月11日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引等関係に関する注記に記載しております。 (3)金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

（平成23年4月11日現在）

種類	計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
株 式	529,500,141
投資信託受益証券	10,753,238
合計	540,253,379

「計算期間」とは、「チャイナ・エクイティ・マザーファンド」の計算期間の期首日から開示対象ファンドの期末日までの期間（平成22年4月13日から平成23年4月11日まで）を指しております。

（平成23年10月11日現在）

種類	計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
株 式	1,096,437,880
投資信託受益証券	18,457,920
合計	1,114,895,800

「計算期間」とは、「チャイナ・エクイティ・マザーファンド」の計算期間の期首日から開示対象ファンドの期末日までの期間（平成23年4月12日から平成23年10月11日まで）を指しております。

## （デリバティブ取引等関係に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（平成23年4月11日現在）

該当事項はありません。

## （通貨関連）

区分	種類	平成23年10月11日現在			
		契約額等 （円）	うち 1年超 （円）	時価（円）	評価損益（円）
市場取引 以外の取引	為替予約取引 買建 アメリカ・ドル	85,190	-	85,168	22
	売建 香港・ドル	85,190	-	85,190	0
合計		-	-	170,358	22

評価損益は、「チャイナ・エクイティ・マザーファンド」の計算期間の期首日から開示対象ファンドの期末日までの期間に対応するものです。

## （注）時価の算定方法

A．計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨につきましては、以下のように評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合には、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合には、以下の方法によっております。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いており

ます。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

B．計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨につきましては、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

（関連当事者との取引に関する注記）

（自 平成23年4月12日 至 平成23年10月11日）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

平成23年4月11日現在	平成23年10月11日現在
1口当たり純資産額 0.6074円 「1口 = 1円（10,000口 = 6,074円）」	1口当たり純資産額 0.3912円 「1口 = 1円（10,000口 = 3,912円）」

（3）附属明細表

有価証券明細表

< 株式 >

通貨	銘柄	株式数 (株)	評価額		備考
			単価	金額	
香港・ドル	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	250,000	21.300	5,325,000.000	
	ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	371,000	8.900	3,301,900.000	
	BANK OF CHINA LTD - H	2,800,000	2.460	6,888,000.000	
	BELLE INTERNATIONAL HOLDINGS	350,000	14.020	4,907,000.000	
	CHANGSHA ZOOMLION HEAVY IN-H	146,220	9.380	1,371,543.600	
	CHEUNG KONG HOLDING	10,000	89.650	896,500.000	
	CHINA BLUECHEMICAL LTD - H	400,000	5.670	2,268,000.000	
	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	4,067,100	4.830	19,644,093.000	
	CHINA EVERBRIGHT LTD	280,000	8.370	2,343,600.000	
	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	250,000	18.600	4,650,000.000	
	CHINA MENGNIU DAIRY CO	150,000	24.100	3,615,000.000	
	CHINA MERCHANTS BANK - H	359,901	11.280	4,059,683.280	
	CHINA MOBILE LTD	349,500	73.200	25,583,400.000	
	CHINA MODERN DAIRY HOLDINGS	2,000,000	1.600	3,200,000.000	
	CHINA OVERSEAS LAND & INVEST	377,600	12.240	4,621,824.000	
	CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H	1,360,000	7.160	9,737,600.000	
	CHINA RESOURCES CEMENT	2,000,000	5.220	10,440,000.000	
	CHINA RESOURCES GAS GROUP LT	300,000	10.080	3,024,000.000	
	CHINA RESOURCES LAND LTD	244,000	8.580	2,093,520.000	
	CHINA RESOURCES POWER HOLDINGS	200,000	12.080	2,416,000.000	
	CHINA SHENHUA ENERGY CO - H	300,000	31.000	9,300,000.000	
CHINA SOUTHERN AIRLINES C	520,000	3.950	2,054,000.000		
CHINA TELECOM CORP LTD	2,300,000	4.760	10,948,000.000		
CHINA TRAVEL INTL INV HK	2,422,000	1.050	2,543,100.000		
CHINA YURUN FOOD GROUP LTD	180,000	10.300	1,854,000.000		

	CNOOC LTD	1,134,000	13.200	14,968,800.000	
	COSCO PACIFIC LIMITED	300,000	9.260	2,778,000.000	
	DONGFANG ELECTRIC CORPORATION LTD-H	100,000	19.280	1,928,000.000	
	DONGFENG MOTOR GRP CO LTD-H	260,000	11.380	2,958,800.000	
	GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LTD	30,000	12.160	364,800.000	
	GOME ELECTRICAL APPLIANCES	2,400,000	2.010	4,824,000.000	
	GOODBABY INTERNATIONAL HOLDI	900,000	1.670	1,503,000.000	
	HENGAN INTL GROUP CO LTD	50,000	63.500	3,175,000.000	
	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	4,000	110.000	440,000.000	
	HUTCHISON WHAMPOA	11,000	64.900	713,900.000	
	IND & COMM BK OF CHINA - H	4,365,000	4.040	17,634,600.000	
	LENOVO GROUP LTD	1,096,000	5.100	5,589,600.000	
	LIFESTYLE INTL HLDGS LTD	23,000	19.660	452,180.000	
	NEW WORLD DEPT STORE CHINA	56,000	4.400	246,400.000	
	PETROCHINA CO LTD-H	1,200,000	9.180	11,016,000.000	
	PICC PROPERTY & CASUALTY -H	300,000	9.040	2,712,000.000	
	PING AN INSURANCE CO-H	185,500	45.050	8,356,775.000	
	SANDS CHINA LTD	20,000	19.320	386,400.000	
	SHANDONG WEIGAO GP MEDICAL-H	300,000	8.500	2,550,000.000	
	SHANGRI-LA ASIA LTD	15,166	14.740	223,546.840	
	SUN HUNG KAI PROPERTIES	5,000	95.550	477,750.000	
	TENCENT HOLDINGS LTD	65,000	168.600	10,959,000.000	
	YANZHOU COAL MINING CO-H	200,000	16.460	3,292,000.000	
	ZHAOJIN MINING INDUSTRY - H	400,000	13.880	5,552,000.000	
	ZTE CORP-H	380,000	21.350	8,113,000.000	
	小計（香港・ドル）50銘柄	35,786,987	-	258,301,315.720 (2,546,850,973)	
シンガ ポール・ ドル	CAPITALAND LTD	159,500	2.450	390,775.000	
	GENTING SINGAPORE PLC	400,000	1.565	626,000.000	
	NOBLE GROUP LTD	121,000	1.400	169,400.000	
	SYNEAR FOOD HOLDINGS LTD	726,000	0.131	95,106.000	
	WILMAR INTERNATIONAL LTD	140,000	4.900	686,000.000	
	小計（シンガポール・ドル）5 銘柄	1,546,500	-	1,967,281.000 (118,154,896)	
台湾・ド ル	CATHAY FINANCIAL HOLDING CO	222,768	34.500	7,685,496.000	
	CHINATRUST FINANCIAL HOLDING	345,731	18.900	6,534,315.900	
	FAR EASTERN NEW CENTURY	432,806	31.550	13,655,029.300	
	FIRST FINANCIAL HOLDING CO	549,202	19.500	10,709,439.000	
	FORMOSA PLASTICS CORP	103,800	86.200	8,947,560.000	
	TAIWAN FERTILIZER CO LTD	36,000	69.700	2,509,200.000	
	TAIWAN SEMICONDUCTOR MFE	158,000	69.100	10,917,800.000	
	YUANTA FINANCIAL HOLDING CO	237,996	15.000	3,569,940.000	
	小計（台湾・ドル）8 銘柄	2,086,303	-	64,528,780.200 (163,257,814)	
韓国・	HYUNDAI MOTOR CO LTD	4,230	197,000.000	833,310,000.000	

ウォン	POSCO	1,615	374,000.000	604,010,000.000	
	SAMSUNG ELECTRONICS	745	874,000.000	651,130,000.000	
	小計(韓国・ウォン)3銘柄	6,590	-	2,088,450,000.000 (138,046,545)	
合計		39,426,380	-	2,966,310,228 (2,966,310,228)	

## &lt; 株式以外の有価証券 &gt;

通貨	種類	銘柄	口数	評価額	備考
香港・ドル	投資信託受益証券	ISHARES FTSE A50 CHINA INDEX ETF	520,000.000	5,397,600.000	
		小計(香港・ドル)1銘柄	520,000.000	5,397,600.000 (53,220,336)	
合計				53,220,336 (53,220,336)	

- (注) 1. 各種通貨ごとの小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。  
 2. 合計欄は邦貨金額を表示しております。( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
 3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入有価証券 時価比率	有価証券の合計 金額に対する比率
香港・ドル	外国株式 50銘柄	80.05%	84.35%
シンガポール・ドル	外国株式 5銘柄	3.71%	3.91%
台湾・ドル	外国株式 8銘柄	5.13%	5.41%
韓国・ウォン	外国株式 3銘柄	4.34%	4.57%
香港・ドル	投資信託受益証券 1銘柄	1.67%	1.76%

組入有価証券時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

注記表中の(デリバティブ取引等関係に関する注記)で記載しており、ここでは省略しております。

## 2 【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】

平成24年2月29日

資産総額	321,614,567円
負債総額	83,652円
純資産総額（ - ）	321,530,915円
発行済数量	260,452,708口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.2345円

(参考) BNPパリバ・ブラジル株式ファンド(FOFs用)（適格機関投資家専用）

純資産額計算書 平成24年2月29日

資産総額	83,538,990 円
負債総額	220,798 円
純資産総額( - )	83,318,192 円
発行済口数	45,812,153 口
1口当たり純資産額( / )	1.8187 円

## 参考

BNPパリバ・ブラジル株式マザーファンドの現況

純資産額計算書 平成24年2月29日

資産総額	46,941,842,098 円
負債総額	64,137,216 円
純資産総額( - )	46,877,704,882 円
発行済口数	60,644,429,056 口
1口当たり純資産額( / )	0.7730 円

(参考) ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用)（適格機関投資家専用）

純資産額計算書

平成24年2月29日

資産総額	74,801,419円
負債総額	15,937円
純資産総額（ - ）	74,785,482円



発行済数量	27,723,490口
1 単位当たり純資産額 ( / )	2.6975円

参考 ダイワ・ロシア株マザーファンド

純資産額計算書

平成24年2月29日

資産総額	9,967,056,069円
負債総額	239,372,808円
純資産総額 ( - )	9,727,683,261円
発行済数量	11,174,375,302口
1 単位当たり純資産額 ( / )	0.8705円

(参考) ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド(FOFs用)適格機関投資家専用

純資産額計算書

平成24年2月29日

資産総額	76,162,133円
負債総額	122,474円
純資産総額 ( - )	76,039,659円
発行済数量	54,186,582口
1 単位当たり純資産額 ( / )	1.4033円

参考 ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

純資産額計算書

平成24年2月29日

資産総額	17,632,623,861円
負債総額	213,289,435円
純資産総額 ( - )	17,419,334,426円
発行済数量	35,465,487,928口
1 単位当たり純資産額 ( / )	0.4912円

(参考) チャイナ龍翔 ( FOF s 用 ) ( 適格機関投資家専用 )

チャイナ龍翔 ( FOFs用 ) ( 適格機関投資家専用 )

(平成24年2月末現在)

資産総額	81,646,092	円
負債総額	235,950	円
純資産総額（ - ）	81,410,142	円
発行済数量	55,894,282	口
1単位当り純資産額（ / ）	1.4565	円

&lt;参考：マザーファンドの純資産額計算書&gt;

(平成24年2月末現在)

チャイナ・エクイティ・マザーファンド

資産総額	3,571,236,661	円
負債総額	17,551,768	円
純資産総額（ - ）	3,553,684,893	円
発行済数量	7,154,352,552	口
1単位当り純資産額（ / ）	0.4967	円

## 第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

## (1) 名義書換えの手続き等

該当事項はありません。

## (2) 受益者に対する特典

ありません。

## (3) 譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

## (4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

## (5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

## (6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

## (7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

## (8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

## (9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

## 第三部 【委託会社等の情報】

### 第1 【委託会社等の概況】

#### 1 【委託会社等の概況】

##### a. 資本金の額

平成24年2月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間における資本金の額の増減：該当事項はありません。

##### b. 委託会社の機構

###### 会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、3名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

###### 投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

##### イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

##### ロ. 投資環境検討会

運用最高責任者である運用本部長（CIO）が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

##### ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

##### ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

## ホ．ファンド評価会議、運用審査会議およびコンプライアンス・監査会議

ファンド評価会議は、運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。また、運用審査会議は、経営会議の分科会として、ファンドの運用実績を把握し評価するとともに、取締役会から権限を委任され、ファンドの運用リスク管理の状況についての報告を受けて、必要事項を審議・決定します。

さらに、運用が適切に行なわれたかについて、経営会議の分科会であるコンプライアンス・監査会議において法令等の遵守状況に関する報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

## 2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

平成24年2月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	2	2,274
追加型株式投資信託	397	7,094,896
株式投資信託 合計	399	7,097,170
単位型公社債投資信託	-	-
追加型公社債投資信託	17	2,533,945
公社債投資信託 合計	17	2,533,945
総合計	416	9,631,115

## 3 【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、第51期事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）は、改正前の財務諸表等規則に基づき、第52期事業年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第51期事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の財務諸表については、あずさ監査法人により監査を受け、第52期事業年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

また、第53期事業年度に係る中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となっております。

3. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成22年3月31日現在)	当事業年度 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	4,783,803	1,820,358
有価証券	26,970,072	18,987,155
前払金	136	579
前払費用	77,248	24,840
未収入金	3,858	6,925
未収委託者報酬	7,030,430	6,933,076
未収収益	90,787	41,963
貯蔵品	30,324	23,337
繰延税金資産	566,334	286,080
その他	256,955	501,484
流動資産計	39,809,953	28,625,803
固定資産		
有形固定資産	1 1,186,818	1 967,190
建物（純額）	318,162	332,407

器具備品（純額）	757,333	634,782
建設仮勘定	111,322	-
無形固定資産	1,751,209	2,414,530
ソフトウェア	1,558,342	1,364,617
ソフトウェア仮勘定	179,630	1,037,069
電話加入権	11,850	11,850
商標権	660	396
その他	725	596
投資その他の資産	10,657,920	18,825,476
投資有価証券	10,018,677	12,339,547
関係会社株式	737,012	5,141,069
出資金	178,806	142,215
従業員に対する長期貸付金	104,419	99,889
差入保証金	617,615	609,781
長期前払費用	8,402	7,607
投資不動産（純額）	1 489,861	1 490,114
貸倒引当金	3 1,496,873	4,750
固定資産計	13,595,948	22,207,196
資産合計	53,405,901	50,833,000

（単位：千円）

	前事業年度 （平成22年3月31日現在）	当事業年度 （平成23年3月31日現在）
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	46,289	46,454
未払金	7,304,929	6,501,119
未払収益分配金	31,110	27,599
未払償還金	261,645	119,838
未払手数料	3,847,895	3,725,807
その他未払金	2 3,164,277	2 2,627,872
未払費用	2,212,051	2,395,029
未払法人税等	692,446	895,379
未払消費税等	104,897	383,973
賞与引当金	838,400	263,000
その他	168,621	-
流動負債計	11,367,635	10,484,955
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	1,179,482	1,410,635
役員退職慰労引当金	39,300	59,160
繰延税金負債	1,963,856	1,977,913
固定負債計	3,182,638	3,447,708
負債合計	14,550,274	13,932,663
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	15,174,272	15,174,272
資本剰余金		

資本準備金	11,495,727	11,495,727
資本剰余金合計	11,495,727	11,495,727
利益剰余金		
利益準備金	374,297	374,297
その他利益剰余金		
別途積立金	2,800,000	-
繰越利益剰余金	9,085,103	9,874,176
利益剰余金合計	12,259,401	10,248,473
株主資本合計	38,929,401	36,918,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,061	104,040
繰延ヘッジ損益	55,712	85,902
評価・換算差額等合計	73,774	18,137
純資産合計	38,855,627	36,900,336
負債・純資産合計	53,405,901	50,833,000



## (2) 【損益計算書】

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
営業収益		
委託者報酬	63,362,142	72,303,483
その他営業収益	432,889	345,390
営業収益計	63,795,032	72,648,873
営業費用		
支払手数料	37,293,022	41,437,322
広告宣伝費	917,652	967,991
公告費	257	1,256
受益証券発行費	131	3
調査費	4,336,342	6,192,360
調査費	771,298	831,159
委託調査費	3,565,043	5,361,200
委託計算費	601,778	718,414
営業雑経費	1,793,369	1,806,147
通信費	284,273	287,454
印刷費	837,408	674,758
協会費	45,168	47,465
諸会費	11,118	10,778
その他営業雑経費	615,400	785,691
営業費用計	44,942,552	51,123,496
一般管理費		
給料	4,847,709	4,192,794
役員報酬	217,200	157,200
給料・手当	3,478,553	3,545,655
賞与	313,555	226,939
賞与引当金繰入額	838,400	263,000
福利厚生費	680,311	619,459
交際費	80,019	68,476
寄付金	-	638
旅費交通費	178,718	266,082
租税公課	166,974	169,305
不動産賃借料	731,728	680,147
退職給付費用	303,972	334,864
役員退職慰労引当金繰入額	37,500	28,500
固定資産減価償却費	941,172	897,352
諸経費	990,534	1,170,318
一般管理費計	8,958,640	8,427,939
営業利益	9,893,838	13,097,437

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)		当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	
<b>営業外収益</b>				
受取配当金		61,884	1	573,514
有価証券利息		87,447		23,029
受取利息		3,425		2,673
時効成立分配金・償還金		40,507		149,120
投資有価証券売却益		213,196		38,591
有価証券償還益		33,090		-
その他		82,595		45,094
営業外収益計		522,147		832,022
<b>営業外費用</b>				
時効成立後支払分配金・償還金		101,945		98,613
貯蔵品廃棄損		44,214		25,533
投資有価証券売却損		263,840		7,515
為替差損		7,870		-
投資不動産管理費用		-		20,028
その他		68,406		36,603
営業外費用計		486,276		188,294
経常利益		9,929,709		13,741,165
<b>特別利益</b>				
貸倒引当金戻入額		159,959		614,232
特別利益計		159,959		614,232
<b>特別損失</b>				
固定資産除却損	2	16,233	2	1,067
ゴルフ会員権評価損		-		21,290
減損損失	3	76,450	3	35,468
その他		-		768
特別損失計		92,683		58,595
税引前当期純利益		9,996,985		14,296,802
法人税、住民税及び事業税		4,592,433		4,834,931
法人税等調整額		516,225		256,140
法人税等合計		4,076,208		5,091,072
当期純利益		5,920,777		9,205,730

## (3) 【株主資本等変動計算書】

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	15,174,272	15,174,272
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	15,174,272	15,174,272
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	11,495,727	11,495,727
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	11,495,727	11,495,727
資本剰余金合計		
前期末残高	11,495,727	11,495,727
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	11,495,727	11,495,727
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	374,297	374,297
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	374,297	374,297
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	2,800,000	2,800,000
当期変動額		
別途積立金の取崩	-	2,800,000
当期変動額合計	-	2,800,000
当期末残高	2,800,000	-
繰越利益剰余金		
前期末残高	9,659,553	9,085,103
当期変動額		
別途積立金の取崩	-	2,800,000
剰余金の配当	6,495,227	11,216,657
当期純利益	5,920,777	9,205,730
当期変動額合計	574,450	789,072
当期末残高	9,085,103	9,874,176
利益剰余金合計		
前期末残高	12,833,851	12,259,401
当期変動額		
剰余金の配当	6,495,227	11,216,657

当期純利益	5,920,777	9,205,730
当期変動額合計	574,450	2,010,927
当期末残高	12,259,401	10,248,473

(単位:千円)

	前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	39,503,851	38,929,401
当期変動額		
剰余金の配当	6,495,227	11,216,657
当期純利益	5,920,777	9,205,730
当期変動額合計	574,450	2,010,927
当期末残高	38,929,401	36,918,473
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
前期末残高	618,549	18,061
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	600,487	85,978
当期変動額合計	600,487	85,978
当期末残高	18,061	104,040
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
前期末残高	-	55,712
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,712	141,615
当期変動額合計	55,712	141,615
当期末残高	55,712	85,902
<b>評価・換算差額等合計</b>		
前期末残高	618,549	73,774
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	544,775	55,636
当期変動額合計	544,775	55,636
当期末残高	73,774	18,137
<b>純資産合計</b>		
前期末残高	38,885,301	38,855,627
当期変動額		
剰余金の配当	6,495,227	11,216,657
当期純利益	5,920,777	9,205,730
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	544,775	55,636
当期変動額合計	29,674	1,955,290
当期末残高	38,855,627	36,900,336

## 重要な会計方針

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	(1) 子会社及び関連会社株式 移動平均法による原価法によ り計上しております。 (2) その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく 時価法（評価差額は全部純資産 直入法により処理し、売却原価 は移動平均法により算定）を採 用しております。 時価のないもの 移動平均法による原価法を採 用しております。	(1) 子会社及び関連会社株式 同左 (2) その他有価証券 同左
2. デリバティブの評価 基準及び評価方法	時価法により計上しておりま す。	同左
3. 固定資産の減価償却 の方法	(1) 有形固定資産及び投資不動産 （リース資産を除く） 定率法によっております。 なお、主な耐用年数は以下の通 りであります。 建物 6～47年 器具備品 3～20年 (2) 無形固定資産 （リース資産を除く） 定額法によっております。 なお、自社利用のソフトウェア については、社内における利用可 能期間（5年）に基づいておりま す。	(1) 有形固定資産及び投資不動産 同左 (2) 無形固定資産 同左
4. 引当金の計上基準	(3) 長期前払費用 定額法によっております。 (1) 貸倒引当金 債権等の貸倒損失に備えるた め、一般債権については貸倒実績 率法により、貸倒懸念債権及び破 産更生債権等については財務内容 評価法により計上しております。 (2) 賞与引当金 役員および従業員に対する賞与 の支給に備えるため、支給見込額 を計上しております。	(3) 長期前払費用 同左 (1) 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、 一般債権については貸倒実績率法 により、貸倒懸念債権及び破産更 生債権等については財務内容評価 法により計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備 えるため、支給見込額を計上して おります。

5 . ヘッジ会計の方法	<p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。 また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段・・・株価指数先物 ヘッジ対象・・・投資有価証券</p> <p>(3) ヘッジ方針 価格変動リスクを軽減する目的で、対象資産である投資有価証券の保有残高の範囲内でヘッジを行っております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 原則として四半期毎にヘッジ手段の時価変動の累計とヘッジ対象の時価変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ手段の有効性評価を行っております。</p>	<p>(3) 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 同左</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左</p>
6 . リース取引の処理方法	<p>リース取引開始日が平成20年3月31日以前の、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	
7 . その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜処理によっております。</p> <p>(2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。</p>	<p>(1) 消費税等の会計処理 同左</p> <p>(2) 連結納税制度の適用 同左</p>

## 会計方針の変更

<p>前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)</p>	<p>当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)</p>
---	---

	<p>(資産除去債務に関する会計基準の適用)</p> <p>当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>なお、当該変更に伴う損益に与える影響はありません。</p>
--	--

## 表示方法の変更

前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
	<p>(損益計算書)</p> <p>1. 「有価証券償還益」の表示方法は、従来、損益計算書上、営業外収益に区分掲記しておりましたが、重要性が低いため「その他」に含めて表示しております。</p> <p>なお、当事業年度の、営業外収益の「その他」に含まれている「有価証券償還益」の金額は、3,185千円であります。</p> <p>2. 「投資不動産管理費用」の表示方法は、従来、損益計算書上、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当事業年度より、営業外費用の「投資不動産管理費用」として区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度の営業外費用の「その他」に含まれている「投資不動産管理費用」の金額は、17,078千円であります。</p> <p>3. 「為替差損」の表示方法は、従来、損益計算書上、営業外費用に区分掲記しておりましたが、重要性が低いため「その他」に含めて表示しております。なお、当事業年度の、営業外費用の「その他」に含まれている「為替差損」の金額は、8,906千円であります。</p>

## 追加情報

前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>(投資有価証券売却損益の計上区分の変更)</p> <p>従来、投資有価証券売却損益は、特別利益又は特別損失の区分において処理しておりましたが、投資有価証券の保有方針等を勘案し、今後、経常的に発生すると見込まれるものについては、実態をより適切に表示するため、当事業年度より営業外収益又は営業外費用の区分において処理しております。</p> <p>この結果、従来の方法と同一の方法によった場合と比べ、経常利益は50,644千円少なく計上されておりますが、税引前当期純利益に与える影響はありません。</p>	

## 注記事項

## (貸借対照表関係)

前事業年度 (平成22年3月31日現在)	当事業年度 (平成23年3月31日現在)
<p>1 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額</p> <p>建物 815,365千円 器具備品 1,938,369千円 投資建物 688,305千円 投資器具備品 27,339千円</p> <p>2 関係会社項目 関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。 未払金 3,002,391千円</p> <p>3 投資その他の資産に計上されております貸倒引当金は、主に外貨建資産担保債券(投資有価証券)に対するものであります。</p> <p>4 保証債務 子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務598,500千円に対して保証を行っております。</p>	<p>1 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額</p> <p>建物 854,118千円 器具備品 2,129,756千円 投資建物 700,991千円 投資器具備品 28,141千円</p> <p>2 関係会社項目 関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。 未払金 2,591,913千円</p> <p>4 保証債務 子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,384,110千円に対して保証を行っております。</p>

## (損益計算書関係)

前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
<p>2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。</p> <p>器具備品 1,439千円 ソフトウェア 14,793千円</p>	<p>1 関係会社項目 関係会社に対する営業外収益には区分掲記されたもののほか次のものがあります。 受取配当金 460,584千円</p> <p>2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。</p> <p>器具備品 1,067千円</p>



## 3 減損損失に関する注記

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。  
場所 千葉県浦安市  
用途 賃貸等不動産(浦安寮)  
種類 建物及び土地

当社は、浦安寮を大和証券グループ全体の補完的な寮として位置付け、本社と浦安寮の2つのグルーピングとしております。

浦安寮については、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、減損の兆候が認められたため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(76,450千円)として特別損失に計上しております。その内訳は、建物7,750千円及び土地68,700千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により評価しております。

## 3 減損損失に関する注記

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。  
場所 千葉県浦安市  
用途 賃貸等不動産(浦安寮)  
種類 建物及び土地

当社は、浦安寮を大和証券グループ全体の補完的な寮として位置付け、本社と浦安寮の2つのグルーピングとしております。

浦安寮については、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、減損の兆候が認められたため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(35,468千円)として特別損失に計上しております。その内訳は、建物26,868千円及び土地8,600千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により評価しております。

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当 の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成21年6月19日 定時株主総会	普通株式	6,495	2,490	平成21年 3月31日	平成21年 6月22日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成22年6月25日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

剰余金の配当の総額 11,216百万円  
配当の原資 利益剰余金  
1株当たり配当額 4,300円  
基準日 平成22年3月31日  
効力発生日 平成22年6月28日

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

## 1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合 計	2,608	-	-	2,608

## 2．配当に関する事項

## (1)配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当 の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	11,216	4,300	平成22年 3月31日	平成22年 6月28日

## (2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成23年6月24日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

剰余金の配当の総額 9,182百万円  
 配当の原資 利益剰余金  
 1株当たり配当額 3,520円  
 基準日 平成23年3月31日  
 効力発生日 平成23年6月27日

## (リース取引関係)

前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
(借主側) リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額  該当事項はありません。  (2)未経過リース料期末残高相当額  該当事項はありません。  (3)支払リース料及び減価償却費相当額	

支払リース料	985千円
減価償却費相当額	985千円
(4)減価償却費相当額の算定方法	
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	

## (金融商品関係)

前事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。また、デリバティブ取引は、事業遂行上生じた市場リスクヘッジのために利用し、投機的な取引は行いません。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、投資信託、株式、債券であります。投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。債券は外貨建資産担保債券を保有しており、発行体の信用リスク及び為替変動リスクに晒されております。

未払手数料は投資信託の販売に係る手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

デリバティブ取引は為替予約及び株式先物取引を行っております。当社ではこれらをヘッジ手段として、ヘッジ対象である投資有価証券に関わる為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。このうち株式先物取引についてはヘッジ会計を適用しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の重要な会計方針「5.ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

## 市場リスクの管理

## ( ) 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っており、外貨建資産担保債券について為替予約を利用してヘッジしております。

## ( ) 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、保

有している投資信託の一部について株式先物取引を利用し、繰延ヘッジ処理を行っております。

#### ( ) デリバティブ取引

デリバティブ取引に関しては、ヘッジ手段に用いる場合にのみ限定しております。取引の執行・管理については財務リスク管理規程に従って行っており、取引の状況を財務会議において行っております。

#### 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、デリバティブ取引は信用リスクを軽減するために、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「2. 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（<注2>参照のこと）。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	4,783,803	4,783,803	-
(2) 未収委託者報酬	7,030,430	7,030,430	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	34,012,542	34,012,542	-
資産計	45,826,776	45,826,776	-
(1) 未払手数料	3,847,895	3,847,895	-
(2) その他未払金	3,164,277	3,164,277	-
(3) 未払費用（*1）	1,696,832	1,696,832	-
負債計	8,709,004	8,709,004	-
デリバティブ取引（*2）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(7,985)	(7,985)	-
ヘッジ会計が適用されているもの	(159,516)	(159,516)	-
デリバティブ取引計	(167,501)	(167,501)	-

（\*1）未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

（\*2）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（ ）で示しております。

<注1>金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

## 資産

## (1) 現金・預金、及び(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照下さい。

負債

## (1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

<注2>時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額
(1) その他有価証券	
外貨建資産担保債券(*1)	311,905
非上場株式	1,172,137
(2) 子会社株式及び関連会社株式	
子会社株式	737,012
(3) 長期差入保証金	617,615

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(\*1) 外貨建資産担保債券に対する貸倒引当金を控除しております。

<注3>金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	4,783,803	-	-	-
未収委託者報酬	7,030,430	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期 があるもの	-	746,330	1,547,596	-
合計	11,814,233	746,330	1,547,596	-

外貨建資産担保債券311,905千円は清算事象が生じており、償還予定額を見込めないため上記表には含めておりません。

（追加情報）

当事業年度より、平成20年3月31日公表の「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第10号）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第19号）を適用しております。

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1．金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。また、デリバティブ取引は、事業遂行上生じた市場リスクヘッジのために利用し、投機的な取引は行いません。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、投資信託、株式であります。投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。

未払手数料は投資信託の販売に係る手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に関係する業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

デリバティブ取引は株式先物取引を行っております。当社では、これをヘッジ手段として、ヘッジ対象である投資有価証券に関わる価格変動リスクをヘッジしており、ヘッジ会計を適用しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の重要な会計方針「5．ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

（ ）為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

（ ）価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、保有している投資信託の一部について株式先物取引を利用し、繰延ヘッジ処理を行っております。

（ ）デリバティブ取引

デリバティブ取引に関しては、ヘッジ手段に用いる場合にのみ限定しております。取引の執行・管理については財務リスク管理規程に従って行っており、取引の状況を財務会議において行っております。

#### 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「2. 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

#### 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（<注2>参照のこと）。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	1,820,358	1,820,358	-
(2) 未収委託者報酬	6,933,076	6,933,076	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	30,154,565	30,154,565	-
資産計	38,908,001	38,908,001	-
(1) 未払手数料	3,725,807	3,725,807	-
(2) その他未払金	2,627,872	2,627,872	-
(3) 未払費用（*1）	1,951,710	1,951,710	-
負債計	8,305,391	8,305,391	-
デリバティブ取引（*2）	183,430	183,430	-

（\*1）未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

（\*2）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（ ）で示しております。

#### <注1>金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

##### 資 産

##### （1）現金・預金、及び（2）未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### （3）有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券

関係」をご参照下さい。

## 負債

### （１）未払手数料、（２）その他未払金、並びに（３）未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

<注 2>時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
(1) その他有価証券 非上場株式	1,172,137
(2) 子会社株式及び関連会社株式 子会社株式	5,141,069
(3) 長期差入保証金	609,781

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

<注 3>金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	1,820,358	-	-	-
未収委託者報酬	6,933,076	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 があるもの	-	1,588,634	4,868,529	-
合計	8,753,434	1,588,634	4,868,529	-

（有価証券関係）

前事業年度（平成22年3月31日現在）

### 1．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（貸借対照表計上額 737,012千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

### 2．その他有価証券



	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの			
(1)株式	76,077	55,101	20,975
(2)その他			
証券投資信託の受益証券	4,728,727	4,379,317	349,410
小計	4,804,805	4,434,419	370,385
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託の受益証券	29,207,737	29,608,576	400,839
小計	29,207,737	29,608,576	400,839
合計	34,012,542	34,042,996	30,453

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 1,172,137千円)、外貨建資産担保債券(貸借対照表計上額(貸倒引当金控除前) 1,804,069千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3. 当事業年度中に売却したその他有価証券(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

種類	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
その他			
証券投資信託の受益証券	13,871,201	213,196	263,840
合計	13,871,201	213,196	263,840

当事業年度(平成23年3月31日現在)

#### 1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式(貸借対照表計上額 5,141,069千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

#### 2. その他有価証券

	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの			
その他			
証券投資信託の受益証券	4,822,299	4,383,992	438,306
小計	4,822,299	4,383,992	438,306
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの			
(1)株式	54,283	55,101	818
(2)その他			
証券投資信託の受益証券	25,277,982	25,890,888	612,906
小計	25,332,266	25,945,990	613,724

合計	30,154,565	30,329,983	175,417
----	------------	------------	---------

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 1,172,137千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3. 当事業年度中に売却したその他有価証券(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

種類	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
その他 証券投資信託の受益証券	21,607,835	38,591	7,515
合計	21,607,835	38,591	7,515

#### (デリバティブ取引関係)

前事業年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

##### 1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

##### 通貨関連

(単位：千円)

区分	デリバティブ 取引の種類等	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	280,388	-	7,985	7,985
	合計	280,388	-	7,985	7,985

(注) 時価の算定方法は、取引先の金融機関から提示された価格により評価しております。

##### 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は次のとおりであります。

##### 株式関連

(単位：千円)

ヘッジ 会計の 方法	デリバティブ 取引の種類等	主な ヘッジ 対象	契約額等		時価	当該時価の 算定方法
				うち1年超		
原則的 処理方法	株価指数先物取引 売建 TOPIX先物	投資 有価証券	2,303,784	-	159,516	東京証券取引所から公表された価格によっている。
	合計		2,303,784	-	159,516	

当事業年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

## ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は次のとおりであります。

## 株式関連

(単位：千円)

ヘッジ 会計の 方法	デリバティブ 取引の種類等	主な ヘッジ 対象	契約額等		時価	当該時価の 算定方法
				うち1年超		
原則的 処理方法	株価指数先物取引 売建 TOPIX先物	投資 有価証券	2,435,030	-	183,430	東京証券取引所から公表された価格 によっている。
	合計		2,435,030	-	183,430	

## (退職給付関係)

前事業年度 (平成22年3月31日現在)	当事業年度 (平成23年3月31日現在)
1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、一時払いの退職金制度、及び確定拠 出年金制度を併用しております。	1. 採用している退職給付制度の概要 同左
2. 退職給付債務に関する事項 退職給付債務 1,179,482千円 退職給付引当金 1,179,482千円	2. 退職給付債務に関する事項 退職給付債務 1,410,635千円 退職給付引当金 1,410,635千円
3. 退職給付費用に関する事項 勤務費用 175,249千円 その他 128,723千円	3. 退職給付費用に関する事項 勤務費用 191,300千円 その他 143,564千円
退職給付費用 303,972千円 なお、「その他」の128,723千円は、確定 拠出年金への掛金支払額であります。	退職給付費用 334,864千円 なお、「その他」の143,564千円は、確定 拠出年金への掛金支払額であります。

## (税効果会計関係)

前事業年度 (平成22年3月31日現在)	当事業年度 (平成23年3月31日現在)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別内訳
繰延税金資産 千円	繰延税金資産 千円
減損損失 915,392	減損損失 928,499
貸倒引当金 609,077	退職給付引当金 573,987
退職給付引当金 479,931	連結法人間取引(譲渡損) 294,850
賞与引当金 302,163	投資有価証券評価損 216,468
株式譲渡損繰延 287,965	未払事業税 212,062
投資有価証券評価損 225,062	出資金評価損 128,238
外貨建有価証券換算差額 176,654	その他有価証券評価差額金 125,395
未払事業税 163,956	賞与引当金 107,014
出資金評価損 126,163	器具備品 38,093
その他有価証券評価差額金 65,652	役員退職慰労引当金 24,072
未払社会保険料 44,836	未払社会保険料 11,722

繰延ヘッジ損益	38,221	その他	28,763
器具備品	38,093	繰延税金資産小計	2,689,169
役員退職慰労引当金	15,991	評価性引当額	1,547,609
その他	27,316	繰延税金資産合計	1,141,560
繰延税金資産小計	3,516,480	繰延税金負債	
評価性引当額	2,139,543	連結法人間取引（譲渡益）	2,772,301
繰延税金資産合計	1,376,937	繰延ヘッジ損益	58,934
繰延税金負債		その他	2,156
株式譲渡益繰延	2,772,301	繰延税金負債合計	2,833,392
その他	2,156	繰延税金負債の純額	1,691,832
繰延税金負債合計	2,774,458		
繰延税金負債の純額	1,397,521		
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳	
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。		法定実効税率 （調整）	40.69%
		交際費等永久に損金に算入されない項目	0.21
		受取配当金等永久に益金に算入されない項目	1.25
		住民税均等割	0.02
		評価性引当額	4.14
		その他	0.07
		税効果会計適用後の法人税等の負担率	35.60

## ( 関連当事者情報 )

前事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

## 1. 関連当事者との取引

## (ア) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金（百万円）	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合（%）	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接 100.0	経営管理	債務保証	598,500	-	-

## (注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

シンガポール通貨庁（MAS）に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

## (イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金 または 出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料	22,043,473	未払手数料	2,870,857
同一の親会社をもつ会社	大和証券キャピタル・マーケット(株)	東京都千代田区	255,700	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料	676,687	未払手数料	64,597
							為替予約	3,946,508	-	-

(注) 1. 上記金額のうち、証券投資信託の代行手数料の取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として、代行手数料を支払っております。手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定しております。

(2) 為替予約取引の条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

3. 大和証券エスエムピーシー(株)は、平成22年1月1日付で、大和証券キャピタル・マーケット(株)に商号変更しております。

2. 親会社に関する注記

(株)大和証券グループ本社(東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

当事業年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金 または 出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有)直接100.0	経営管理	債務保証	1,384,110	-	-
子会社	Daiwa Asset Management (India)Private Limited	India	1,128	金融商品取引業	(所有)直接91.0	経営管理	増資の引受	3,204,985	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

(2) インド共和国における外国資本規制上の最低払込金額を満たすため、当社がDaiwa Asset Management(India)Private Limited社の行った増資を1株につき72円86銭で引き受けております。

## (イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金 または 出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料	21,941,957	未払手数料	2,760,790
同一の親会社をもつ会社	大和証券 キャピタル ・ マーケット(株)	東京都千代田区	255,700	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料	666,862	未払手数料	70,947
							為替予約	1,160,187	-	-
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研	東京都江東区	1,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入	1,085,626	未払費用	129,623

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を兄弟会社に支払います。手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定しております。

(2) 為替予約取引の条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

(3) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

(株)大和証券グループ本社（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

## (セグメント情報等)

## [ セグメント情報 ]

前事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## [ 関連情報 ]

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

## 1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## [ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 ]

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

	資産運用に関する事業	合計
減損損失	35,468	35,468

## [ 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 ]

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

## [ 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 ]

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

## (追加情報)

当事業年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (1株当たり情報)

前事業年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）	当事業年度 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）
1株当たり純資産額 14,895.63円 1株当たり当期純利益 2,269.77円	1株当たり純資産額 14,146.05円 1株当たり当期純利益 3,529.09円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	同左

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
当期純利益(千円)	5,920,777	9,205,730
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

## (重要な後発事象)

前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
該当事項はありません。	同左

## (追加情報)

前事業年度(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)

当社及び株式会社大和証券グループ本社(以下、総称して「大和証券グループ」)は、株式会社新生銀行傘下で、インド共和国においてアセットマネジメント事業を行っているShinsei Asset Management (India) Private Limited(以下、「SAMI」)及びShinsei Trustee Company (India) Private Limited(以下、「STC」)の全株式を株式会社新生銀行及びその他の株主から取得いたしました。

本件について、平成22年12月20日に買収手続きを完了した後、「SAMI」及び「STC」は、Daiwa Asset Management (India) Private Limited(以下、「DAMI」)及びDaiwa Trustee Company (India) Private Limited(以下、「DTC」)として商号を変更しました。その後、インドにおける外国資本規制上の最低払込金額を満たすために、平成23年 1月31日に増資を行っております。「DAMI」及び「DTC」は大和証券グループの100%子会社であり、当社の取得原価、増資の引受、貸借対照表計上額並びに出資比率は下記のとおりであります。

(単位：千円)

	DAMI	DTC
取得原価	1,059,552	2,717
増資の引受	3,204,985	9,944
貸借対照表計上額(注) 関係会社株式	4,391,020	13,037
出資比率	91.0%	99.9%

(注) 取得付随費用を算入した後の金額になります。

[次へ](#)



## 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

		当中間会計期間末 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		5,608,473
有価証券		9,013,133
未収委託者報酬		6,773,690
貯蔵品		12,758
繰延税金資産		197,087
その他		472,852
流動資産計		22,077,996
固定資産		
有形固定資産	1	870,049
無形固定資産		
ソフトウェア		2,237,473
その他		321,718
無形固定資産合計		2,559,192
投資その他の資産		
投資有価証券		17,664,932
その他	1	1,296,211
貸倒引当金		4,750
投資その他の資産合計		18,956,394
固定資産計		22,385,635
資産合計		44,463,632

(単位:千円)

		当中間会計期間末 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金		5,629,444
未払費用		2,988,680
未払法人税等		981,739
賞与引当金		277,000
その他	3	306,598
流動負債計		10,183,463
固定負債		
繰延税金負債		1,436,117
退職給付引当金		1,566,148
役員退職慰労引当金		66,370
固定負債計		3,068,636
負債合計		13,252,099

純資産の部	
株主資本	
資本金	15,174,272
資本剰余金	
資本準備金	11,495,727
資本剰余金合計	11,495,727
利益剰余金	
利益準備金	374,297
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	4,745,092
利益剰余金合計	5,119,390
株主資本合計	31,789,390
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	817,480
繰延ヘッジ損益	239,622
評価・換算差額等合計	577,857
純資産合計	31,211,532
負債・純資産合計	44,463,632

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬		37,977,881
その他営業収益		178,035
営業収益計		38,155,917
営業費用		
支払手数料		21,394,608
その他営業費用		5,556,258
営業費用計		26,950,866
一般管理費	1	4,367,716
営業利益		6,837,334
営業外収益	2	165,615
営業外費用	1, 3	123,075
経常利益		6,879,874
特別損失		4,756
税引前中間純利益		6,875,117
法人税、住民税及び事業税		2,890,995
法人税等調整額		68,802
中間純利益		4,052,924

## (3) 中間株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	15,174,272
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	15,174,272
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	11,495,727
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,495,727
資本剰余金合計	
当期首残高	11,495,727
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,495,727
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	374,297
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	374,297
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
当期首残高	9,874,176
当中間期変動額	
剰余金の配当	9,182,008
中間純利益	4,052,924
当中間期変動額合計	5,129,083
当中間期末残高	4,745,092

(単位:千円)

	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
利益剰余金合計	
当期首残高	10,248,473
当中間期変動額	
剰余金の配当	9,182,008
中間純利益	4,052,924
当中間期変動額合計	5,129,083
当中間期末残高	5,119,390

株主資本合計	
当期首残高	36,918,473
当中間期変動額	
剰余金の配当	9,182,008
中間純利益	4,052,924
当中間期変動額合計	5,129,083
当中間期末残高	31,789,390
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	104,040
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	713,440
当中間期変動額合計	713,440
当中間期末残高	817,480
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	85,902
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	153,719
当中間期変動額合計	153,719
当中間期末残高	239,622
評価・換算差額等合計	
当期首残高	18,137
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	559,720
当中間期変動額合計	559,720
当中間期末残高	577,857
純資産合計	
当期首残高	36,900,336
当中間期変動額	
剰余金の配当	9,182,008
中間純利益	4,052,924
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	559,720
当中間期変動額合計	5,688,804
当中間期末残高	31,211,532

## 重要な会計方針

	当中間会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
--	--

1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券  子会社株式及び関連会社株式  移動平均法による原価法により計上しております。  其他有価証券  時価のあるもの  中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。  時価のないもの  移動平均法による原価法を採用しております。</p> <p>(2) デリバティブ  時価法により計上しております。</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産及び投資不動産  定率法によっております。  なお、主な耐用年数は以下の通りであります。  建物 6～47年  器具備品 3～20年</p> <p>(2) 無形固定資産  定額法によっております。  なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。</p> <p>(3) 長期前払費用  定額法によっております。</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金  債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については財務内容評価法により計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金  従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金  従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。  また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金  役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。</p>

4. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段・・・株価指数先物 ヘッジ対象・・・投資有価証券</p> <p>(3) ヘッジ方針 価格変動リスクを軽減する目的で、対象資産である投資有価証券の保有残高の範囲内でヘッジを行っております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 原則として四半期毎にヘッジ手段の時価変動の累計とヘッジ対象の時価変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ手段の有効性評価を行っております。</p>
5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p> <p>(2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。</p>

## 追加情報

当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当中間会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 注記事項

(中間貸借対照表関係)

当中間会計期間末 (平成23年9月30日)	
1. 減価償却累計額 有形固定資産 投資その他の資産	 3,036,275千円 727,880千円
2. 債務保証 子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,240,890千円に対して保証を行っております。	
3. 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	

(中間損益計算書関係)

当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
1. 減価償却実施額	

有形固定資産	131,539千円
無形固定資産	363,595千円
投資その他の資産	7,309千円
2. 営業外収益の主要項目	
受取配当金	46,562千円
投資有価証券売却益	44,885千円
時効成立分配金・償還金	33,386千円
法人税還付加算金	20,450千円
3. 営業外費用の主要項目	
投資有価証券償還損	67,771千円
為替差損	13,127千円
貯蔵品廃棄損	13,042千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

当中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（千株）	当中間会計期間 増加株式数（千株）	当中間会計期間 減少株式数（千株）	当中間会計期間末 株式数（千株）
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

### 2. 配当に関する事項

#### 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	9,182	3,520	平成23年 3月31日	平成23年 6月27日

（金融商品関係）

当中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### （1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。また、デリバティブ取引は、事業遂行上生じた市場リスクヘッジのために利用し、投機的な取引は行いません。

#### （2）金融商品の内容及びそのリスク

投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられてい

るためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、投資信託、株式であります。投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。

未払金は主に投資信託の販売に係る手数料及び連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

デリバティブ取引は為替予約及び株式先物取引を行っております。当社ではこれらをヘッジ手段として、ヘッジ対象である投資有価証券に関わる為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。このうち株式先物取引についてはヘッジ会計を適用しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の重要な会計方針「4．ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

### （3）金融商品に係るリスク管理体制

#### 市場リスクの管理

##### （ ）為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っており、外貨建投資有価証券の一部について為替予約を利用してヘッジしております。

##### （ ）価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、保有している投資信託の一部について株式先物取引を利用し、繰延ヘッジ処理を行っております。

##### （ ）デリバティブ取引

デリバティブ取引に関しては、ヘッジ手段に用いる場合にのみ限定しております。取引の執行・管理については財務リスク管理規程に従って行っており、取引の状況を財務会議において行っております。

#### 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、デリバティブ取引は信用リスクを軽減するために、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

### （4）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「2．金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2．金融商品の時価等に関する事項

平成23年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（<注2>参照のこと）。

（単位：千円）

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額



(1) 現金・預金	5,608,473	5,608,473	-
(2) 未収委託者報酬	6,773,690	6,773,690	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	20,364,859	20,364,859	-
資産計	32,747,023	32,747,023	-
(1) 未払金	5,629,444	5,629,444	-
(2) 未払費用(*1)	2,636,853	2,636,853	-
負債計	8,266,298	8,266,298	-
デリバティブ取引(*2)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(1,773)	(1,773)	-
ヘッジ会計が適用されているもの	(30,798)	(30,798)	-
デリバティブ取引計	(32,572)	(32,572)	-

(\*1) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(\*2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( )で示しております。

#### <注1>金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

##### 資産

###### (1) 現金・預金、及び(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

###### (3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照下さい。

##### 負債

###### (1) 未払金、及び(2) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

#### <注2>時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	1,172,137
子会社株式	5,141,069
長期差入保証金	540,246

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積ることなどができず、時価を把握する

ことが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

<注3>金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	5,608,473	-	-	-
未収委託者報酬	6,773,690	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 があるもの	-	1,496,072	6,195,633	-
合計	12,382,163	1,496,072	6,195,633	-

(有価証券関係)

当中間会計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式(中間貸借対照表計上額 5,141,069千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

	中間貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの その他 証券投資信託の受益証券	3,556,521	3,405,918	150,602
小計	3,556,521	3,405,918	150,602
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの (1)株式	42,785	55,101	12,316
(2)その他 証券投資信託の受益証券	16,765,553	18,282,157	1,516,604
小計	16,808,338	18,337,259	1,528,920
合計	20,364,859	21,743,177	1,378,317

(注)非上場株式(中間貸借対照表計上額 1,172,137千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

当中間会計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、

次のとおりであります。

## 通貨関連

(単位：千円)

区分	デリバティブ 取引の種類等	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	971,384	-	1,773	1,773
合計		971,384	-	1,773	1,773

(注) 時価の算定方法は、取引先の金融機関から提示された価格により評価しております。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は次のとおりであります。

## 株式関連

(単位：千円)

ヘッジ 会計の 方法	デリバティブ 取引の種類等	主な ヘッジ 対象	契約額等		時価	当該時価の 算定方法
				うち1年超		
原則的 処理方法	株価指数先物取引 売建 TOPIX先物	投資 有価証券	1,946,277	-	30,798	東京証券取引所から公表された価格 によっている。
合計			1,946,277	-	30,798	

(セグメント情報等)

## [セグメント情報]

当中間会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## [関連情報]

当中間会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

### 3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

#### [ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日）

該当事項はありません。

#### [ 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日）

該当事項はありません。

#### [ 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日）

該当事項はありません。

#### （ 1 株当たり情報 ）

当中間会計期間 （自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日）	
1 株当たり純資産額	11,965.20円
1 株当たり中間純利益金額	1,553.72円
（注） 1 . 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載して おりません。 2 . 1 株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。	
中間純利益(千円)	4,052,924
普通株式に係る中間純利益(千円)	4,052,924
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

#### （ 重要な後発事象 ）

該当事項はありません。

#### 4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）、

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）、

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5 【その他】

##### a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項に該当する事実はありません。

##### b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼした事実または重要な影響を及ぼすことが予想される事実

提出日前1年以内において、訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼした事実または重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

## 第2 【その他の関係法人の概況】

### 1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

#### (1) 受託会社

名称 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 342,037百万円（平成24年4月1日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

#### (2) 販売会社

名称 大和証券株式会社

資本金の額 100,000百万円（平成24年4月1日現在）

事業の内容 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

### 2 【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行ないます。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行ないます。

### 3 【資本関係】

該当ありません。

#### < 再信託受託会社の概要 >

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額：51,000百万円（平成23年3月末日現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社（日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

### 第3 【その他】

#### (1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。

目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。

委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。

詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。

- ・ 委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
  - ・ 請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨  
使用開始日を記載することがあります。
  - 届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
    - ・ 届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
  - ・ 届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
- 次の事項を記載することがあります。
- ・ 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
  - ・ 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
  - ・ 「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
- 委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
- ファンドの形態等を記載することがあります。
- 図案を採用することがあります。
- ファンドの管理番号等を記載することがあります。

(2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用することがあります。

(3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。

(4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。

## 独立監査人の監査報告書

平成24年3月30日

大和証券投資信託委託株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワBRICSリターンズ・ファンドの平成23年8月23日から平成24年2月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワBRICSリターンズ・ファンドの平成24年2月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。



（注2）財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[委託会社の監査報告書（当期）](#)△

## 独立監査人の監査報告書

平成23年6月2日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	森 公 高
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	福 井 淳
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	梅 津 広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第52期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[委託会社の監査報告書（当期中間）へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成23年11月29日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 公高 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 貞廣 篤典 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内田 和男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理の状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第53期事業年度の中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注)上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

## 独立監査人の監査報告書

平成22年6月25日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員 公認会計士 堀内 巧 印  
業務執行社員指定社員 公認会計士 小澤 陽一 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第51期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注)上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。